議案検討用

第 13 回 通常総代会　議案書（案）

第１分冊

笑顔のたねをまこう!

と　き　2022年6月13日(月)　　10時30分～12時00分
ところ　愛知県産業労働センター（ウインクあいち）大ホール

平和とよりよい生活のために
生活協同組合 コープあいち

PDF用.indd 1　2022/03/30 13:56

「一人は万人のために、万人は一人のために」

この言葉は、「個人の権利（利益）」を尊重し、同時に「生協全体の利益や地域の人々の利益」も大切にするという協同組合（人）が大切にしている協同互助の精神を表す世界共通のスローガンです。

「平和とよりよい生活のために」

このスローガンは、めいきん生協・みかわ市民生協が設立された当時から大切にしてきました。物価高や不安な食品から生活と健康を守ること、そして、平和な世界、平和なくらしこそがその基礎である、という組合員の思いと願いが込められた言葉です。合併によって2010年度に統一したスローガンとしました。

コープあいち　大切にしたい3つの視点

≪組合員の視点≫
組合員が主人公の運営を全体で貫き、協同の力で事業と運動をすすめます
≪ふくしの視点≫
ふくしの視点で活動をすすめ、やさしくあたたかな協同組合文化をつくります
≪地域の視点≫
地域社会の一員として、くらしを守るネットワークの結び目になります

コープあいちのロゴマーク

■マークに込めた意味

人と人とのふれあいと、愛知の「愛」とをかけてハート形でCOOPの文字を表現しました。Cは花、Oは種、Pは芽のイメージで色を付けています。愛知の豊かな自然や食生活を守り、次世代への種をはぐくむという願いを込めています。

COOP22_AICHI_H2_P03_CS6.indd 2　2022/04/14 11:29

目　次

●5月議案検討用議案書（案）について …… 2
●第13回通常総代会 議案の概要 …… 3
●コープあいちの2021年度を振り返る …… 4
第1号議案　2021年度活動のまとめと事業報告書及び決算関係書類の承認の件 …… 6
第2号議案　2022年度活動方針と予算及び事業計画の設定の件 …… 24
第3号議案　役員選任の件 …… （別冊）
第4号議案　役員報酬決定の件 …… （別冊）
第5号議案　組合員の除名の件（特別議決事項） …… 38
資　　料　「2021年度事業報告書及び決算関係書類」（議案書第2分冊）
資料1：持続可能な開発目標SDGsについて …… 40
資料2：SDGs助成制度について …… 41
資料3：平和活動・国際協力活動の取り組みについて …… 42
資料4：環境の取り組みについて …… 46
資料5：ブロックの事業所や活動の紹介について …… 48
資料6：理事の年間の活動について（2021年度の実績） …… 55
資料7：監事会の年間の活動について（2021年度の実績） …… 57
資料8：2030年ビジョンと第4次中期方針 …… 59

COOP22_AICHI_H2_P03_CS6.indd 1　2022/04/14 11:29

生活協同組合コープあいち　第13回通常総代会

議案検討用議案書（案）について

第１号議案 **「2021年度活動のまとめと事業報告書及び決算関係書類の承認の件」の報告**

第２号議案 **「2022年度活動方針と予算及び事業計画の設定の件」の提案**

第３号議案 **「役員選任の件」（別冊）の提案**

第４号議案 **「役員報酬決定の件」（別冊）の提案**

第５号議案 **「組合員の除名の件（特別議決事項）」の提案**

生活協同組合コープあいち理事会・監事会

理事長	森 政広　（代表理事）					
副理事長	平光 佐知子					
専務理事	箕浦 明海　（代表理事）					
常務理事	坂口 博					
理事	青嶋 京子	家崎 奈美	伊藤 美希	大宮 克美	小野 修三	雄谷 博子
	可知 祐一郎	加藤 真奈美	駒井 義明	佐々木 京佳	柴田 学	水貝 福夫
	樽見 千春	靏 みどり	中山 弦	野瀬 利恵	宮本 季余美	村松 留利
	横田 典子	吉田 濵一	渡辺 文人			
常勤監事	磯村 隆樹					
監事	加藤 英和	喜多崎 留美	小木曽 照美	鈴木 義行		

（50音順）

COOP22_AICHI_H2_P03_CS6.indd 2　2022/04/14 11:29

第13回通常総代会 議案の概要

第１号議案 **2021年度活動のまとめと事業報告書及び決算関係書類の承認の件**

2021年度の方針と計画がどこまですすんだのかを確認します。

Ⅰ　2021年度の活動のまとめ

Ⅱ　2021年度の事業報告書及び決算関係書類（概要）

定款に基づき、事業報告書、貸借対照表、損益計算書、決算を踏まえての剰余金活用について報告と提案をします。詳しくは議案書第2分冊をご覧ください。

（今回は別冊資料に掲載）

Ⅲ　監査報告書

議案書第2分冊をご覧ください。（今回は掲載はありません）

第２号議案 **2022年度活動方針と予算及び事業計画の設定の件**

2022年度の方針と予算・事業計画を決定します。

Ⅰ　2022年度の活動方針

Ⅱ　2022年度予算及び事業計画

第３号議案 **役員選任の件**

役員の任期満了に伴い、理事会から候補者の名簿を提案します。

第４号議案 **役員報酬決定の件**

役員の年間報酬総額（上限）について決定します。

第５号議案 **組合員の除名の件（特別議決事項）**

定款第12条に基づき、3年以上商品代金の支払いがないなどの組合員を対象に、除名することを決定します。

特別議決事項とは

定款第62条（総代会の特別議決事項）により、総代の半数以上が出席し、その3分の2以上の賛成が可決に必要となる議題を指します。今回の議案のうち、第5号議案が該当します。なお、それ以外の議案は過半数の賛成で可決となります。

COOP22_AICHI_H2_P03_CS6.indd 3 2022/04/14 11:29

コープあいちの2021年度を振り返る

4月
虹の会動画サイトオープン

5月
おうちで食習慣チェック

752名の参加があり、食習慣の見直しにつながる。

6月
「核兵器禁止条約を発効させた市民の力」を発刊

SDGs エシカルチャレンジ 2021 実施

職員のコロナワクチン接種への対応

7月・8月
春日井市と「子育て支援に係る連携・協力に関する協定」締結

生産者応援のため牛乳を緊急値下げし利用を呼びかけ

コープあいちテレビ CM を活用した仲間づくりの推進

9月
「8月大雨災害支援募金」の呼びかけ

コロナ禍で危機を迎えた岡崎駒立ぶどう狩り組合と連携したぶどうの販売

COOP22_AICHI_P04_P05_CS6.indd 4 2022/04/13 17:44

10月

ポイントサービスの改善

消費税率10%の商品にもコープ宅配ポイント付与の開始。

コープあいち創立10周年記念式典開催

行政や関連団体、虹の会、県内JAのみなさんへ感謝とともに2030年ビジョンの実現に向けての決意を表明。

11月・12月

NPO法人アイキャン フィリピンとのオンライン交流会開催

西尾市と「子育て支援に係る連携・協力に関する協定」締結

災害支援協定に続き西尾市と連携をすすめる。

1月

コープあいちSDGs助成制度申請受付の開始

2月

知多市と「地域共生社会の実現に向けた連携協定」締結

NPOあいちあんきネット公開セミナー＆無料法律相談開催

3月

「東日本大震災復興支援10年のまとめ」小冊子とWebサイトオープン

剰余金を活用したコープ宅配ポイント還元

地域社会貢献として剰余金を活用した寄付※

コープ岩田リニューアル

※寄付先 一般財団法人全国大学生協連奨学財団、認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク、一般社団法人愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会

COOP22_AICHI_P04_P05_CS6.indd 5 2022/04/13 17:44

第1号議案　2021年度活動のまとめと事業報告書及び決算関係書類の承認の件

（本文中の※は用語解説のある語句です）

Ⅰ　2021年度の活動のまとめ

2021年度は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先に事業と活動をすすめました。宅配事業への利用結集により、総事業高654億6千万円、経常剰余金14億6千万円の結果となり、予算を大幅に超えて達成しました。課題は「店舗の黒字化」、「新型コロナウイルスの影響によるコミュニケーション不足」、「利用者づくりと来店者の分析・対応力が弱いこと」、「組合員活動のフォローがすすんでいないこと」です。

1.重点課題について

⑴<お役立ち>　～コープあいちのさまざまな事業を通しみんなの想いをつなげます～

①食を中心に、生涯を通してくらしへのお役立ちができる事業をめざして取り組みました。

宅配事業は、テレビCMやSNSを活用した仲間づくりを推進し、予約登録者やeフレンズ登録者を増やして利用継続に取り組みました。店舗事業は、4つの運営課題（鮮度・品揃え・クリンリネス・接遇）に取り組み、粗利益率の改善と業務改善をすすめました。福祉事業は、身体介護比率の向上や介護度別利用者にこだわった取り組みをすすめました。

②生協のしくみを活かし、行政や地域の諸団体のみなさんとも連携して、安心してくらせるまちづくりへの貢献に取り組みました。

行政との連携は、春日井市、西尾市と子育て支援協定、知多市と地域共生社会の推進に関する連携協定を結びました。あんきネット※は、2月に立ち上げた東三河を中心に周知活動を展開しました。

⑵<SDGs>　～組合員・地域のみなさんと一人ひとりができることから始めましょう～

①地域での活動を積み重ね、世界の人々とともに、格差や貧困・飢餓のない社会の実現に貢献することに取り組みました。

ユニセフ活動は、地域組織づくりにむけた他団体への呼びかけやハンドインハンドなど募金活動を行いました。誰もができる国際協力活動はアイキャン（ICAN）※と連携して書き損じはがきの取り組みや、フィリピンアイキャンとオンライン交流会を開催しました。

②ダイバーシティなど、互いに認め合いながら一人ひとりが大切にされる社会をつくることに取り組みました。

ダイバーシティ＆インクルージョン※の4つの課題（女性活躍推進・障がい者雇用・組織の高齢化・LGBTQ＋※、外国人雇用）はプロジェクトを立ち上げ推進しました。

用語解説

※あんきネット
あんきネットとは、名古屋第一法律事務所、新大和税理士法人、コープあいちの知的、物的、人的資源を生かして高齢者の願いを実現する生活セーフティネットの役割などを担う特定非営利活動法人です。「あんき」とは名古屋の方言で「安心」という意味です。

用語解説

※ダイバーシティ&インクルージョン
ダイバーシティ＆インクルージョンとは、ダイバーシティは「多様性」、インクルージョンは「受容」を意味します。性別、年齢、障がい、国籍などの外面の属性や、ライフスタイル、職歴、価値観などの内面の属性にかかわらず、それぞれの個を尊重し、認め合い、良いところを活かすことです。

用語解説

※アイキャン（ICAN）
アイキャン（ICAN）とは、名古屋に本部事務所を置き、フィリピンにて教育・医療・協同組合づくり等を展開するNPOです。

用語解説

※LGBTQ+
LGBTQ＋とは、性的少数者を表す言葉で、同性を恋愛の対象とする女性（レズビアン）、男性（ゲイ）、同性も異性も恋愛対象となりうる人（バイセクシュアル）、体の性と心の性が異なる人（トランスジェンダー）、性的指向や性自認が定まっていない人（クエスチョニングまたはクイア）を意味します。最後に「＋」がついているのは、これ以外にもたくさんの性のあり方があるためです。

COOP22_AICHI_P06_P23_01号議案_CS6.indd 6　2022/04/14 11:31

③くらしの中でエシカル※消費をすすめることに取り組みました。

宅配ではエシカル商品の特集ページを作成し、店舗では地場野菜の取り扱いを強めました。商品は利用普及を重点に見直しや開発、新規取り扱いに向けた課題の検討・調査をすすめました。障がい者の支援につながる「SDGs Re DESIGN PROJECT」※に参加し今年度はコープ小幡とコープ日進店で販売を行いました。

④脱炭素社会･循環型社会･自然共生社会の実現に向けて、くらしのあり方を見直し、事業を変革することに取り組みました。

CO_2削減では、4センターに太陽光パネルの増設、営業活動用の小型電気自動車7台の導入と省エネ設備を導入しました。環境問題に興味と関心をもっていただけるように「SDGsエシカルチャレンジ2021」をとおして参加を広げました。

⑤被爆・戦争体験の平和への想いを次世代に継承し、世界の人々への発信と対話を広げ、核兵器廃絶と世界平和の実現をめざすことに取り組みました。

核兵器禁止条約の日本の批准を目指す署名活動は参加を広げるためにWeb署名もできるようにしました。誰でも参加できる平和活動として､「平和のぬりえ」「平和川柳」に取り組みました。

⑶<チャレンジ>　～社会の変化に機敏に対応し、のりこえていきます～

①食の安全・安心をリードし、いのちとくらしにかかわるさまざまな分野で、社会的水準を高めるフロントランナーをめざすことに取り組みました。

各ブロック内の生産者・JAと連携が広がりました。事前に職員が取り扱う産物(商品)について学んだ内容を組合員に伝え利用につながりました。公式YouTube「ほこチャンネル」を開設しブロックごとに作成した商品動画の配信を10月より行いました。

②一人ひとりのくらしに寄り添いながら、社会の変化に対応し、災害時にもたすけ合い・ささえ合える地域社会をつくることに取り組みました。

BCP（事業継続計画）※は、感染症マニュアル作成や風水害訓練、地震発生後の対策本部立ち上げ訓練を実施しました。人事部に安全運転推進課を設置し、2022年度から安全運転教育を自前ですすめる体制と体系の構築検討を開始しました。

③技術の進化を積極的に取り入れながら、情報発信の充実や事業革新にチャレンジすることに取り組みました。

eフレンズを利用したお知らせの強化とアンケートを積極的に取り組み回答率が上がりました。新城市の中山間地でのドローン物流の実証実験に参加しました。

用語解説

※エシカル
エシカルとは、倫理的なという意味です。
エシカル消費は地域や社会、環境や人々に配慮してモノやサービスを買うことです。

用語解説

※BCP（事業継続計画）
BCPとは、大規模災害などの緊急事態が発生したときに、損害を最小限にして事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時から行う活動や緊急時における事業継続のための方法や手段などを取り決めておく計画のことです。

用語解説

※SDGs Re DESIGN PROJECT
SDGs Re DESIGN PROJECTとは、活動に賛同する企業や団体が未利用素材の提供、販売場所の提供、スキルでの支援、コンテストの企業賞での学生支援、障がい者の応援、実行委員として支援する非営利団体です。

COOP22_AICHI_P06_P23_01号議案_CS6.indd 7　2022/04/14 11:31

第1号議案 2021年度活動のまとめと事業報告書及び決算関係書類の承認の件

⑷<みんなの力>　参加・共感・信頼

①人の力

「組織運営方針・組合員参加と運営のしくみ」見直し提案(一部)を総代会で報告し、ブロック連絡会で協議・報告をすすめました。虹の会オンライン学習会や各種の動画を組合員に紹介し、自宅でも学べる機会を広げました。西三河・名古屋南ブロックのコープサポーターや組合員同士のオンライン学習会が広がりました。リモートアプリ(zoom)を活用し採用活動(新卒内定者は11名)や職員研修を計画に沿って実施しました。2021年8月「大雨災害支援募金」に取り組みました。「おうちで食習慣チェック」に取り組み、参加者フォローとして「食生活相談会」を開催しました。

②連帯の力

協同組合間の取り組みとして、JAあいち海部・JAあいち経済連と愛知米の初出荷式に参加しました。大学生協と4名の人事交流を実施し大学生協支援と組織の活性化をすすめました。次世代育成の視点で株式会社スリーC※との連携、LGBTQ+学習会、次期幹部研修、役員と語る会、ダイバーシティ交流会、他職場体験研修等を行いました。

③願いをカタチにする力

700名のブロックモニター活動に取り組み、組合員を巻き込んだ商品普及をしました。店舗で原爆パネル展示を開催し「核兵器の非人道性」「平和の尊さ」「命を大切にすること」を伝えました。衆議院選挙に向けて「みんなで投票にいこう！」と呼びかけ、核兵器の使用禁止と廃絶を求める活動として、「日本政府が核兵器禁止条約の署名・批准するとともに締約国会議へのオブザーバー参加要請文」を日本政府へ提出しました。ロシアのウクライナ軍事侵攻に抗議し、平和解決を求める声明を出しました。

用語解説

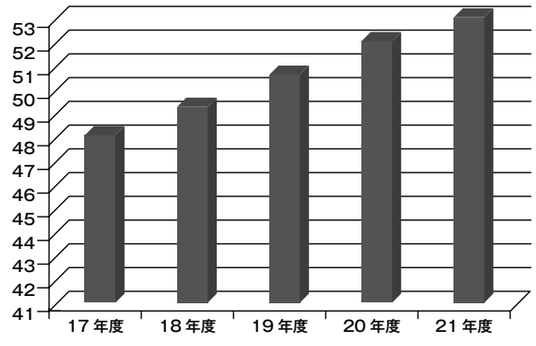
※スリーC
スリーCとは、コープあいちの関係団体で清掃業や警備業、レンタルモップや浄水器等の斡旋などを行う会社です。農業にもチャレンジしコープあいち職員も農業体験を行いました。

COOP22_AICHI_P06_P23_01号議案_CS6.indd 8　2022/04/14 11:31

●事業全体のようす

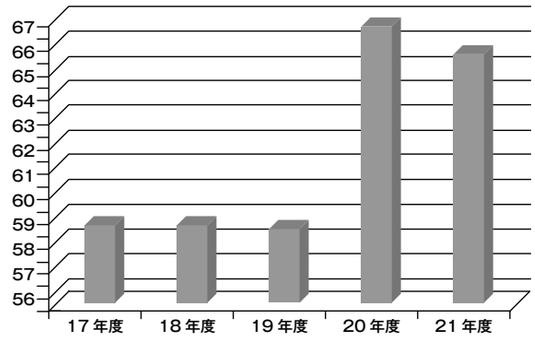
総事業高	654 億円	前年比	97.7%
コープ宅配	504 億円	前年比	97.9%
店舗	94 億円	前年比	93.5%
共済	8 億円	前年比	100.5%
福祉	24 億円	前年比	102.6%
モーニングコープ	5 億円	前年比	95.6%
夕食宅配	7 億円	前年比	112.8%

組合員数（万人）



組合員数 **52 万 9216** 人
加入率 **16.09**%

総事業高（10億円）



総事業高
654 億 円

COOP22_AICHI_P06_P23_01号議案_CS6.indd 9　2022/04/14 11:31

第1号議案 2021年度活動のまとめと事業報告書及び決算関係書類の承認の件

2.分野別の重点課題について

⑴宅配事業（504億円　予算比107.1%前年比97.9%）

宅配事業は、新型コロナウイルス感染対応を基本としつつ、コロナ禍の中で変化するくらしの要望に応え、利用定着と仲間づくりを推進しました。

①総合力を活かした宅配事業の伸長

生活全般に頼りにされる事業として成長するために、くらしのサポート事業、福祉事業と連携して認知症サポーター養成講座を各センターで開催し、高齢化社会での対応力向上を図りました。コープあいちの「総合力」を実感いただき、宅配事業だけでなく、店舗、福祉、共済等の各種事業をあわせて利用いただくことが課題です。

②仲間づくり目標

仲間づくりは、コロナ禍の活動としてテレビCMと連動した紹介活動を中心にすすめました。年間目標達成（宅配事業27,000人・店舗事業3,000人）に向けて法人利用や職場利用を推進しました。次年度に向けては、比較的加入率の低い都市部での加入促進が課題です。（2月度加入率は名古屋市内113万世帯のうち15.4%、あいち全体328万世帯のうち16.0%です）

③仲間づくりや利用につながる情報づくり

コロナ禍で戸別訪問やイベントでの宣伝ができない中でコープあいちの認知度向上のため、コープあいちオリジナルテレビCM（テレビ愛知）と東海3生協合同テレビCM（民放4局）を放映しました。Web広告やSNSと連動することで、多くの加入情報をいただき仲間づくりが伸長しました。オリジナルテレビCMで使用した3商品の利用は前年実績120%を超える実績となりました。（ミルクプリン、ミックスキャロット、ただの炭酸水）

④利用定着の取り組み

予約登録・eフレンズを活用されている方は、コープ宅配を継続して利用いただける方が多いことから、予約登録・eフレンズ登録の目標を持って普及を推進しました。eフレンズで注文している方のOCR注文用紙発行停止でポイントを付与する取り組みはeフレンズの普及と合わせて環境に配慮（紙資源）した取り組みに貢献しました。

コープ宅配に対する満足度をお聴きする「利用者アンケート」の結果は2019年度に比べ、「良い」以上の評価が3.5%向上しました。（2020年度未実施）

⑤利用継続の取り組み

若年層や利用点数の少ない組合員の利用動向を品揃えに活かすことや、加入時にeフレンズ登録をお勧めし便利に注文いただくことで、加入後に継続して利用いただけるよう取り組みました。利用を続けていただくために、品揃えの充実、注文のしくみの改善、利用するために必要な情報発信のあり方が課題です。（加入後の年間継続率は81.7%です）

⑥宅配事業の発展

AIを活用して、簡易版注文用紙にくらしにあわせたおすすめ商品が掲載できるよう改善し、必要とされる方にとって注文しやすい注文用紙づくりをすすめています。

若年層・共働き世帯・シニア層、それぞれのくらしにあわせたカタログ・企画づくりをすすめました。

⑦若年層とシニア層

「商品」「しくみ」の強化を行う重点世代として、若年層と長年利用をいただいているシニア層を位置づけ、それぞれの要望を大切にすすめました。紙面とスマホ等の端末を連携して料理レシピや商品情報がいつでも得られる環境づくりやシニア層の組合員が将来にわたって利用し続けられる注文のしくみを東海3生協で検討、開発することが課題です。

総代の声

3人目産まれ、出かけるのが大変になり、本格的に生協を利用しはじめました。離乳食、骨取り魚をよく買っています。

総代の声

家族に濃厚接触者がいて10日間自宅待機になってしまった。生協に言って玄関先に置いてもらったが、直接渡すことはできないが、いつでもどんどん頼んでください届けることはできますからと言ってもらって力強く助かった。

COOP22_AICHI_P06_P23_01号議案_CS6.indd 10 2022/04/14 11:31

資料

●仲間づくり

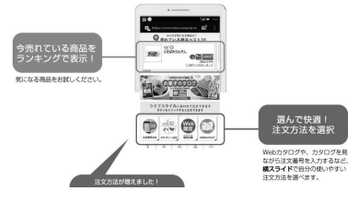
テレビ CM の放映、Web 広告や SNS を活用してコープ商品の魅力を伝えて資料請求につなげる。
ハピハピボックスのお届け数は 18,730 個で、生協未加入の方は 12,441 名。そのうち、6,118 名が生協に加入頂きました。（加入率 49.2%）

総代の声
テレビCMや番組でコープあいちを宣伝するのはとても良いことだと思います。

総代の声
CMの効果はどんな感じでしょうか？

● e フレンズの登録をおすすめ

e フレンズの登録率は 60.2%まで伸長。
OCR 発行停止し e フレンズ注文の方へポイント付与実施。
昨年 10 月から締め切り時間を延長し、より便利に。



総代の声
ネット注文の時間が少し延びたことが有難い。

≪e-フレンズ締め切り時間延長のお知らせ≫
e-フレンズの締め切り時間を、10月26日（火）より現在の配達曜日翌日の22時から23時へ延長いたします。尚、締め切り間際は大変混みあいますので、時間には余裕をもってご注文ください。

●認知症サポーター養成講座

宅配センターで認知症サポーターを広め、高齢化社会で求められる対応力を学ぶ。地域の見守りに生かす。

総代の声
地域の高齢化が進んでいて店もないので届けてくれるのがとても助かる。

●ポイントサービス

消費税率 10%の商品利用でも使用できるように改善。
コープ宅配への利用結集に感謝し、ポイント還元を実施。
4 月度から 1 月度までの 10 か月間の宅配利用高に対して 0.5%分をポイント還元（くらしと生協・スクロール・ギフトなどのカタログは対象外）。

＜注文用紙での使用方法＞

＜e-フレンズでの使用方法＞

総代の声
ポイントが10％も含め全部対象になって良かった。

●パソコンにてe-フレンズを使用されるときは、注文画面の「注文番号注文」よりポイント使用の注文番号「3922」「3988」いずれかを入力、数量を確認し、注文ボタンをクリックしてください。

●予約登録のおすすめ

新規加入者の方へお試し注文から予約登録をお知らせ。

総代の声
コープ商品は簡単に食事の準備ができるものが多いので時短にもなり、男の一人暮らしでは宅配は本当に助かっています。

●コープ宅配

コープ宅配事業の週当たり利用人数

グループ	3 万 9665 人
個人	12 万 2534 人
ステーション	2411 人
合計人数	16 万 4610 人

COOP22_AICHI_P06_P23_01号議案_CS6.indd 11　2022/04/14 11:31

第1号議案 2021年度活動のまとめと事業報告書及び決算関係書類の承認の件

⑵店舗事業（94億円　予算比99.5％前年比93.5％）

店舗事業は、コロナ禍の不安とともにあるくらしからお一人おひとりの新しいくらしに向けて、組合員のくらしの変化に対応できるお店づくりをめざしました。

①東海コープとの連携強化による事業効率の向上と損益改善

企画の見直しなどをすすめ、2019年度と比べて直接剰余金（149百万円）、経常剰余金（151百万円）ともに改善することができました。2020年度からは損益が後退したため、引き続き連携強化をすすめて改善をしていくことが課題です。

②基本の運営4課題（鮮度・品揃え・クリンリネス・接遇）の水準向上

基本の運営4課題の水準向上のため各店舗で競合店調査を行い改善につなげています。声を聞く取り組みはLINEアンケートを実施し、3,393人から回答がありました。人気ランキング1位の商品にポイント特典を付け商品普及に生かしました。LINEはお得な役立つ情報発信や店ごとに特色ある配信内容とすることが課題です。

③4つの強み「鮮度」「美味しさ」「こだわり」「SDGs」の声を生かした商品普及

バイヤーズセレクションを2回実施し組合員から好評をいただきこだわりの美味しい商品育成ができました。中型店でコープクオリティエンド（陳列棚の両端）をコーナー化し利用が伸長しました。今後は小型店でも展開しさらに利用伸長を目指します。

④価格訴求による販売の促進

コープ商品の価値を打ち出すことを基本にしましたが下期は、コロナ禍で組合員のくらしが厳しいことからカード提示商品を増やし、10周年企画などで価格訴求に取り組みました。ウィズカチャージの企画は7月から第1、3週の2回に増やし、100ポイントから50ポイント付与に変更しました。

⑤利益率の改善

生鮮強化、品揃えの見直しをすすめ利益率は24.3%となりました（目標24.1%）。ロス対策が必要な店舗を指定しSV※と店長が中心となって改善を行い成果につながりました。野菜、惣菜部門は改善がすすみましたが、前年より悪化した鮮魚部門は製造数の見直し、日配部門は発注精度を高めていくことが課題です。

⑥業務改善と生産性向上

自動発注は、8月度からコープ上社店で開始し、コープ日進店、コープとよあけ店、コープ大高インター店で導入し順調に運用しています。コープ諏訪・コープ岡崎・コープ安城よこやま・コープいぬやまで組合員にとって買いやすい売場や職員にとって働きやすい環境整備など作業改善に取り組みました。今後も作業改善を続けていく風土づくりが課題です。

⑦持続可能な店舗事業をめざす取り組み

特別対策店※2年目のコープいわくらは、多くの組合員に現状をお知らせするためのDMやブロックと連携して地域へのお知らせ活動などに取り組みました。しかし、店舗の構造的な問題でもある事業経費が賄えず、事業継続に関する基準に基づき、閉店予定となりました。コープ岩田は利用しやすいお店へリニューアルを行いました。コープ小幡は事業計画を達成しモデル店舗への道筋づくりがすすみました。コープ高蔵寺NT、コープいぬやま、コープ岡崎の3店舗で冷凍機を改修しました。（投資は岩田35百万円、冷凍機3店で17百万円です。）

⑧組合員参加・地域連携

LINEを活用して虹の会主催のオンライン学習会や福祉事業の介護職員初任者研修の案内など実施しました。コープ大高インター店では、小学校の店舗見学をオンラインで実施するなどコロナ禍での取り組みを行いました。

用語解説

※SV
スーパーバイザーとは、自身の経験を活かし方針に沿って店舗運営にかんする支援を行い改善に導く役割です。

用語解説

※特別対策店
特別対策店とは、店舗の「事業継続にかんする基準」により対策が必要とされるお店のことです。店舗が年度決算において直接剰余赤字の場合（賃借物件の場合には、直接剰余が1％以上の赤字）、理事会はその店舗を「特別対策店」に指定し、対策を実施します。最長2年の期限内に改善が見込めないと理事会が判断した場合には閉店の対象となります。

COOP22_AICHI_P06_P23_01号議案_CS6.indd 12　2022/04/14 11:31

資料

●業務改善

自動発注システムを中型店で順次導入。業務効率が向上。

総代の声
お店の欠品は少なくして欲しい。買いたい時に買いたいです。

作業改善で買いやすい売り場で在庫削減＝鮮度アップへ。

総代の声
品揃えもあって買い物はしやすい。

● LINE の活用

おトクな情報のお届け、声を聴く取り組みから人気商品のアンケート結果を企画に反映。

総代の声
店舗のLINEチラシを見る機会が増えた。「今日の特売」だと気軽に行ける場所に住んでいないため行ける機会を逃してしまうので予告も一緒にチラシに入れてもらうと助かる。

総代の声
それぞれの店で特徴を出してLINEで情報頂けるのは魅力的。

総代の声
職員教育も大事になってくると思います。生産者との交流も含めて組合員さんもそうですが職員の教育にも力を入れていただき売り場で商品の良さを広げられるようにしてほしい。

総代の声
高齢になると少しでも（量）良いので、美味しいものに出会いたい。

●商品普及

コープクオリティのコーナー化やこだわり商品の普及で価値訴求。

総代の声
お店の商品に、もっとCOOP商品を品揃えしてほしい。

●持続可能な店舗事業をめざす取り組み

特別対策店コープいわくら　DM 発送やブロック連携

コープ小幡　デリ＆ベーク＋コープのこだわり

コープ岩田　リニューアル

●店舗

年間利用者数
401 万 1748 人
お店の数　**18 店**
移動店舗利用者数
約 266 人 / 週

COOP22_AICHI_P06_P23_01号議案_CS6.indd 13　2022/04/14 11:31

第1号議案 2021年度活動のまとめと事業報告書及び決算関係書類の承認の件

⑶福祉事業（24億円　予算比100.1%前年比102.6%）

福祉事業は、さらに進む超高齢社会に向け、事業の拡大や投資、処遇改善が行えるよう、安定した黒字経営をすすめました。

①事業目標の達成に向けた実践力のレベルアップ

利用者人数を増やし稼働率を向上する取り組みは、コロナ禍により十分なお知らせ活動を組み立てる事が出来ませんでしたが、報酬改定への対応や身体介護比率※の向上がすすみ、経常剰余金は、84百万円（前年比＋122百万円）とコロナ禍による厳しい事業環境でしたが、事業を進捗させる事ができました。予算計上していない賞与増額分（0.4カ月・18百万円）を除くと、2000年から始まった福祉事業として、初めて1億円を超える剰余を生み出すことができました。

②業務改善

ICT化に対応するため新介護システム（クラウド）の活用がすすみ、日常業務の効率化を推進しました。各事務作業が軽減した事により、利用者に向き合う時間が確保でき、質の高い介護の提供がより一層すすみました。

③質の高い介護の提供

生協10の基本ケア実践は、コロナ禍により実技部分の学習を旺盛にすすめることができないことから、推進PJを設置し取り組み内容や課題の共有化をすすめました。技術動画を活かした学習を各事業所ですすめることや事例報告会を開催して学びを生かすことが課題です。

④担い手の確保

新卒採用は、Webによるセミナーを開催しました。中途採用についてもこれまでの紙媒体からWeb主体に切り替えたことで、採用が困難な登録ヘルパーやサービス提供責任者の採用（10名採用）につながりました。Web募集媒体の振り返りをしっかりと行い、22年度に向けた担い手確保の取り組みをすすめることが課題です。

⑤利用者・ご家族、地域とのつながりづくり

7月から8月にかけて利用者3,949世帯に福祉利用者アンケート（OCR）を配布し、2,429世帯から返答をいただきました。声に応えるための訪問活動計画を立て、2,337世帯の利用者ご家族とお会いし、声をしっかりと聞く活動をすすめました。また、アンケート内容をしっかりと受け止め、利用者・ご家族や地域とのつながりを深めながら次年度方針に反映させていきます。

⑥既存事業の事業転換と新規事業の展開

ケアコープ豊橋の事業展開については、プロジェクトを開催しサービス内容を協議しました。事業を具体化してすすめることが課題になるため、プロジェクトチームをつくり、計画を推進しています。名古屋市での地域密着型サービスは引き続き検討していきます。ヘルスケア事業についても検討を行います。

⑦ NPO法人あいちあんきネットの取り組み

NPO法人あいちあんきネットは、2月に立ち上げた東三河を中心に周知活動を展開し賛助会員が29名増えました。コープあいち福祉事業所で学習会を行い利用者紹介につながりました。賛助会員を広げることや地域の関心事等をつかみ今後の取り組みに生かしていくことやコープあいち福祉事業所との連携が課題です。

総代の声

安全安心な商品を求めて利用してきたが、少し高齢になってきて福祉事業にも関心があります。

総代の声

主人が病気になって福祉用具を利用した。とても丁寧な対応でたすかっています。自分はヘルパー講習を受講しました。とても内容がよくて良かったです。

用語解説

※身体介護比率
身体介護比率とは、身体介護や家事援助など総サービス時間に占める身体時間の割合のことです。

COOP22_AICHI_P06_P23_01号議案_CS6.indd 14　2022/04/14 11:31

資料

●生協 10 の基本ケア

生協１０の基本ケアとは？

日常の生活行為そのものをリハビリと捉える考え方です。利用者と介護職員がトイレ、食卓、浴室などでの日々の介助の中で、在宅生活を基本とした生活動作の維持・向上を目指すものになります。生協 10 の基本ケアを主軸とした介護では、1 から 10 までのケアを実践していくことで、利用者本人の活動性の向上から家族や地域の人々との関わりまでトータルケアへとつなげていくことが大事になります。

総代の声

まだ一部の地域にしか事業所がないようですが、今後増える予定はありますか？

●アンケートの実施

昨年を上回る回答で約 9 割が好評の声。

アンケートの声

デイサービスには休まず出掛け身体機能の低下もほとんどなさそうです。家族としては安心して送り出せ大変ありがたく思っています。

他の訪問介護も利用したことがありましたが、コープさんは融通を利かせてくれて（父の時も）とても助かっています。

●事例共有の取り組み

生協 10 の基本ケアを意識して取り入れたケアプランの作成、車いすの座面調整から生活環境の提案など職場で学習。それらの学びをニュースで共有。

●福祉用具の取り組み

専門の相談員が相談にお応えする。杖や車いす、介護ベッドなど幅広い介護用品をそろえ、介護する方される方、双方の負担を軽くする。

●人材育成・確保の取り組み

豊川会場、小牧会場で介護職員初任者研修を開催。
修了後に約半数がコープあいちで就労。

総代の声

研修を受けた方が生協で働いてくれる」のはとても良いことだと思う。さらに長く働き続けていただけるような取り組みを進めて欲しい。

●福祉

年間利用者のべ **13万6190人**

福祉施設の数 **31 施設**

福祉事業
- 居宅介護支援　・訪問介護（ヘルパー）
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護、訪問看護
- デイサービス　・ショートステイ
- 福祉用具レンタル・販売
- 小規模多機能ホーム
- 地域包括支援センター

COOP22_AICHI_P06_P23_01号議案_CS6.indd 15　2022/04/14 11:31

第1号議案 2021年度活動のまとめと事業報告書及び決算関係書類の承認の件

⑷くらしのサポート事業・共済事業

くらしのサポート事業、共済事業は、事業間の連携を活かした情報発信を大切に、気軽に相談でき、くらしに役立つ存在として取り組みをすすめました。

①夕食宅配(7.5億円　予算比108.5%前年比112.8%)

各宅配センターの協力のもと前年から伸長し、予算を達成しました。利用者の要望から土用の丑などの催事弁当や医療・介護食、冷凍おかずなどを取り扱い、利用を増やすことができました。配達担当者の高齢化がすすみ、ワクチン接種によるお休みなど配達体制の確保に苦慮しました。利用者の増加を支える体制の安定化と職員増員が課題です。

②モーニングコープ(5.9億円　予算比102.6%前年比95.6%)

モーニングコープ独自の商品として、「鮮魚ボックス」の紹介を行い、宅配の利用者に大変喜ばれました。引き続き利用人数を増やしていく事が課題です。宅配センターで学習会を定期的に開催しモーニングコープ事業への理解を深め、宅配事業との連携を強めることで利用者を増やす取り組みをすすめます。

③葬祭事業(0.8億円　予算比119.0%前年比112.2%)

葬儀の小規模化から1件当たりの手数料は減少しましたが、利用件数の増加と納骨堂の申し込みがすすみ収入が増えました。組合員はもちろん、コープあいちの職員に対しても葬祭、霊園などを周知し提携内容の認知度を高めていくことが課題です。

④住宅事業(住まいのコープ)(0.49億円　予算比94.6%前年比102.5%)

コロナ感染拡大の影響により、海外生産のトイレ関連部品や木材の納期遅延のため、工事代金の入金が遅れる物件が発生しました。提携業者会や建築士との共有を図る会議はリモート開催がすすみましたが、組合員のリモートによる相談会やセミナーへの参加はありませんでした。相談窓口を身近に拡げることが課題です。

⑤買い物支援

店舗のふれあい便は、午後からの配達が基本ですが、早い時間帯のお届けを希望される方が多いことから従来の配達開始時間を早めたことで、多くの利用者から早く届く様になったと喜んでいただけました。移動店舗は、買い物に出かける動機のひとつとなるよう、事前注文の声がけをすすめ、必要なものを購入できるようにしました。コロナ感染対策のため、停留所での集いやサロンと一緒になった取り組みはできませんでした。コミュニティーの場として行政や自治会との連携強化が課題です。

⑥共済・保険事業(8.3億円　予算比104.0%前年比100.5%)

共済加入は、2年連続でコープあいち全体の目標数を達成しました。《たすけあい》ジュニアコースが30歳までの満期延長など改定案内をすすめました。インターネット加入などWebの活用を推進しました。満期や資料請求の早期対応を行い日常的に推進することが課題です。

⑦生活サービス事業

旅行や公演・レジャー等のチケットはコロナ禍の自粛の影響を受けて利用が減少しました。ふとん打ち直しやレンタルモップ、家庭学習教材、眼鏡、補聴器、家具、呉服、貸衣装など組合員特典でくらしを応援しました。

利用者の声

コロナで家族全員が自宅待機になってしまうと買い物を親戚に頼んだりと大変。夕宅を1週間利用できるとか、1食ではなく3食とかもあると良いです。

総代の声

生協職員に共済の連絡をもらって息子の学生総合共済のことを知らせてもらって手続きをしました。CMは見ていたが我が家が対象とは連絡をもらうまで気がつかなかったので親切な対応だと思いました。

COOP22_AICHI_P06_P23_01号議案_CS6.indd 16　2022/04/14 11:31

資料

●夕食宅配の取り組み

栄養士が地産地消を大切にし、地元の有機野菜を取り入れながら、バラエティ豊かな献立構成を心がける。

医療食は、糖尿病が気になる方へカロリーを抑えた食事や腎臓の負担を軽くしたい方にたんぱく質とカリウムを抑えるなど。健康を気づかう方へのやわらか普通食やかむ力が弱い方に介護食なども取り揃える。

●葬祭事業の取り組み

29 万人以上の組合員に選ばれているティアカードの 6 つの特典は、1．入会金や年会費、月々の積立金が不要。2．葬式費用が組合員価格。3．組合員の 3 親等内まで葬儀特典が利用できる。4．全国の会館で利用可能。5．葬儀後の法要も組合員価格。6．人形供養料が無料。

これからのくらしに安心を、後悔しないために生き方応援ノート（エンディングノート）で自分の意思や希望を整理し負担を減らす。

●共済・保険の取り組み

ジュニアコースが改定。声に応えてよりよい内容へ。共済専任職員やコープサポーターによる保障の見直し相談や Web 上でおすすめプランシミュレーションで検討できる。

●モーニングコープの取り組み

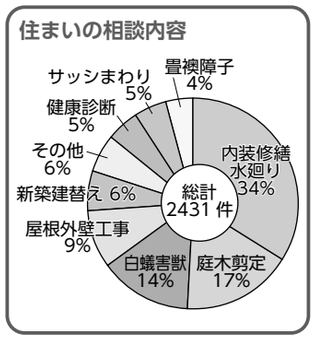
愛知県の地場地産の野菜をはじめ、全国の旬食材や話題のお店の商品など、さまざまな食品を掲載。

総代の声

お魚ボックスはすごく気に入っています。新鮮なお魚が届きます。

●住宅事業の取り組み

新築・リフォームなど「住まい」に関するご相談に幅広く応える。提携業者は愛知県内に 30 社。



総代の声

リフォーム時にコープ提携の工務店にも見積もりしてもらい提案内容が参考になりました。

●ふれあい便

コープのお店でお買い上げいただいた商品をご自宅までお届けする有料サービス（上社、とよあけ、高蔵寺 NT、小幡、本山、なかた、上八田）。コープとよあけ店、コープ上社店では、全温度帯の商品をお届け。

●移動店舗フレンズ便

近くにお店がない、車に乗れないので遠くまで買い物に行けない方の声に応えて停留所へお届け。

総代の声

高齢の叔母がいるので生協をすすめたが宅配ではなく自分の目で見て買い物をしたいとのこと。移動店舗が近くに来てもらえると助かる。

COOP22_AICHI_P06_P23_01号議案_CS6.indd 17　2022/04/14 11:31

第1号議案 2021年度活動のまとめと事業報告書及び決算関係書類の承認の件

⑸組合員活動と商品活動

商品活動・組合員活動は、コロナ禍でもすすめられる組合員活動を組合員と検討し、すすめました。

①SDGsにつながる商品活動、組合員活動

ふだんのくらしの中で「温室効果ガス削減、食品ロス削減、リサイクル、エシカル消費」など、一人ひとりの行動がSDGsにつながっていること知ってもらう機会として「SDGsエシカルチャレンジ」を年間3回取り組みました。（第1回1,560人、第2回2,388人）具体的にできることを提案したことで参加が広がりました。生協商品にはSDGsにつながる商品がたくさんあることを商品案内や店舗の売り場でお知らせしました。

②商品活動

ブロックごとに100名、全体で700名の商品モニター活動に取り組み、モニターの中でいただいた組合員の声・意見を活かして商品普及に取り組みました。ブロックごとに組合員向け商品動画を作成し10月より配信しました。東海コープとも連携し、商品モニター活動の声を活かした商品普及や、動画を活用して利用につなげることが課題です。

大府センターの朝採りトウモロコシ企画をはじめ、他のブロック・センターでも地元JAとの取り組みが広がり、生落花生・いちじく、チンゲン菜・人参・きくらげブロッコリーなど新たな産物を企画することができました。

③環境活動

「コープあいち環境政策」の中で、温室効果ガスの2030年削減目標として2013年度比40%削減を目標に取り組んでいます。目標達成のため年1%のエネルギー使用量の削減をめざし2月度累計で前年比99.8%でした。食品ロス削減では組合員向けの学習会資料を作成しました。今後、環境政策にそって、コープあいちとしての再生可能エネルギーの研究と開発の具体化が課題です。

④くらしを守る運動

平和は、「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」に取り組み、Web署名も開始し、17,902筆を集めました（1月31日現在）。次世代につなぐため、「コープあいちの平和の取り組みの蓄積」と「戦争・被爆体験の継承」の平和アーカイブを作成しました。引き続き署名活動に取り組み、平和アーカイブサイトの継続的な更新とサイトを活用した学習会などの場づくりが課題です。ユニセフ協定地域組織（愛知県ユニセフ協会）設立は、理事会で設立に向けて準備をすすめました。

⑤「組織運営方針・参加と運営のしくみ」の見直しと「＜支援＞組合員参加を支援する制度・しくみ等」の充実

総代会に提案する内容をブロック連絡会（第4回）で確認いただきました。2023年度から新しい制度・しくみが運用できるよう、準備していくことが必要です。ひとりでも参加できる企画の充実と、参加された方へ新しいしくみをお知らせし、参加の広がりを作っていくことが課題です。

⑥広報誌やWebサイトでの発信

生協らしい商品を紹介する「いいモノいいコトいいトコロ」を広報誌・Web共に掲載しました。虹の会「つくり手たちのいるところ」、ブロック別商品動画「コープあいち公式ほこチャンネル」とともに多くの消費者の目に触れる機会を作ること、エシカル商品・地域の特色ある商品の情報を発信し、利用を広げることが課題です。

利用者の声
SDGsは自分たちがどんな取り組みができるか勉強し考えたい。

総代の声
組合員活動は感染症対策をしっかりして開始して欲しい。組合員活動が置いてけぼりになっていないか心配。

利用者の声
集会室のモニターについて、リモートの学習などで使用し、非常に見やすくてよい。

COOP22_AICHI_P06_P23_01号議案_CS6.indd 18 2022/04/14 11:31

資料

● SDGs の推進

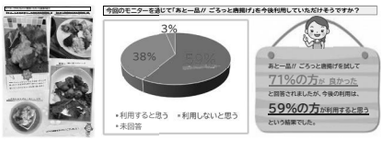
今すぐ取り組める SDGs・エシカルチャレンジ 2021 を実施。関心が高まる。

●行政との連携

春日井市、西尾市、知多市と子育てなどの支援協定を締結。豊明市では緊急生活支援協定の一環でまごころサポート便をお届けする。

●商品モニター

各ブロック 100 名のモニターが取り組む。尾張北ブロックはトーノーデリカの「あと一品 !! ごろっと唐揚げ」をモニター。



東三河ブロックは丸千水産の「骨取りサバ三枚おろし」をモニター。

名古屋南ブロックはモニター活動を活かして珈琲や紅茶でおなじみのワルツと職員がコラボして商品動画を作成。コーヒーの美味しい入れ方や保存方法をプロが伝授！

総代の声

ブロックで開発した商品を集めてお知らせするとわかりやすく利用につながると思う。

●オンラインコンサート

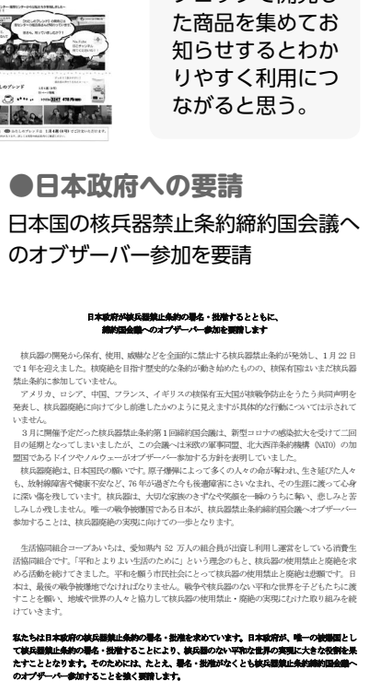
保育士シンガーソングライター桃乃カナコさんによる親子ふれあいコンサートを YouTube で配信。

● Web 学習会

生産者・メーカーのみなさんがライブで学習会を開催。野菜ソムリエの竹内さんから「スウィーティオバナナ」を学ぶ。

●日本政府への要請

日本国の核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加を要請



日本政府が核兵器禁止条約の署名・批准するとともに、
締約国会議へのオブザーバー参加を要請します

核兵器の開発から保有、使用、威嚇などを全面的に禁止する核兵器禁止条約が発効し、1月22日で1年を迎えました。核廃絶を目指す歴史的な条約が動き始めたものの、核保有国はいまだ核兵器禁止条約に参加していません。

アメリカ、ロシア、中国、フランス、イギリスの核保有五大国が核戦争防止をうたう共同声明を発表し、核兵器廃絶に向けて少し前進したかのように見えますが具体的な行動については示されていません。

3月に開催予定だった核兵器禁止条約第1回締約国会議は、新型コロナの感染拡大を受けて二回目の延期となってしまいましたが、この会議へは米欧の軍事同盟、北大西洋条約機構（NATO）の加盟国であるドイツやノルウェーがオブザーバー参加する方針を表明していました。

核兵器廃絶は、日本国民の願いです。原子爆弾によって多くの人々が命を奪われ、生き延びた人々も、放射線障害や健康不安など、76年が過ぎた今も後遺障害にさいなまれ、その生涯に渡って心身に深い傷を残しています。核兵器は、大切な家族のきずなや笑顔を一瞬のうちに奪い、悲しみと苦しみしか残しません。唯一の戦争被爆国である日本が、核兵器禁止条約締約国会議へオブザーバー参加することは、核兵器廃絶の実現に向けての一歩となります。

生活協同組合コープあいちは、愛知県内 52 万人の組合員が出資し利用し運営をしている消費生活協同組合です。「平和とより よい生活のために」という理念のもと、核兵器の使用禁止と廃絶を求める活動を続けてきました。平和を願う市民社会にとって核兵器の使用禁止と廃絶は悲願です。日本は、最後の戦争被爆地でなければなりません。戦争や核兵器のない平和な世界を子どもたちに渡すことを願い、地域や世界の人々と協力して核兵器の使用禁止・廃絶の実現にむけた取り組みを続けていきます。

私たちは日本政府の核兵器禁止条約の署名・批准を求めています。日本政府が、唯一の被爆国として核兵器禁止条約の署名・批准することにより、核兵器のない平和な世界の実現に大きな役割を果たすこととなります。そのためには、たとえ、署名・批准がなくとも核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加することを強く要請します。

●くらしを守る運動

お家からでも平和の願いを届けてもらうために、「ぬり絵&ピースメッセージ」と「平和川柳」を募集

創作講談「杉原千畝物語」公演。第二次大戦中にユダヤ系難民にビザを発給して命を助けた杉原千畝の物語。

●リサイクルの取り組み

○コープ宅配では、配達時に、商品案内、牛乳パック、卵パック、シッパー内袋、商品案内袋を回収しています。

○店舗では、店舗のリサイクルボックスで卵パック、牛乳パック、食品トレー、ペットボトルを回収しています。

●リサイクル回収量

牛乳パック	124 トン	回収量率 48.2%（コープ宅配）
卵パック	50.2 トン	回収量率 60.2%（コープ宅配）
商品案内・チラシ	4328.8 トン	回収量率 68.6%（コープ宅配）
シッパー内袋・商品案内袋	79.8 トン	回収量率 42.3%（コープ宅配）
スチロール・食品トレー	8.4 トン	回収量率 14.2%（店舗）

COOP22_AICHI_P06_P23_01号議案_CS6.indd 19　2022/04/14 11:31

第1号議案 2021年度活動のまとめと事業報告書及び決算関係書類の承認の件

⑹管理分野

管理分野は、リスク対応し、事業を継続できる組織づくりをすすめました。

①担い手づくりや新たな人事制度の構築

福祉専任職員とケアスタッフの定年延長(65歳)を実施しました。均衡待遇や職員の高齢化を踏まえた総合的な新人事制度づくりをすすめます。女性活躍、障がい者雇用、組織の高齢化、LGBTQ+・外国人雇用をテーマに、プロジェクトを立ち上げ学習会や研修を実施しました。人事部に安全運転推進課を設置し、安全運転教育の強化のため体制と教育体系を構築中です。大学生協との間で4名の人事交流を実施しました。

②BCP（事業継続計画）

風水害訓練、地震発生後の対策本部立ち上げ訓練を実施しました。内部統制を強化するため、職員ハンドブックの改善により、倫理方針や行動規範、職場マネジメントの重要性を職員が理解できるように工夫しました。業務上の計画・実行・評価・改善の循環を強化すること、わかりやすい内部統制へ転換することが課題です。

③収益認識会計基準※への法対応、会計システム更新による実務の改善

収益認識会計基準の学習会を行い、理解を深め2022年度予算編成の中で対応しました。期中の剰余金活用や剰余金処分案、任意積立金の再整理、役員報酬のあり方などの諸課題を提案し次年度へつなげていきます。2022年度から行う、自由脱退や減資の対応手順づくりや職員学習を行い、新たな運用に対応できる準備を行いました。会計システム更新は、システムの安定稼働を最優先にすすめました。経理業務の洗い出しや業務分担の再整理、日常のマネジメントの改善が課題です。

④働きやすい職場環境づくりや施設改善

コロナ禍が継続する中、職員の健康や安全を最優先に、対策会議の開催や自主的にPCR検査を行いました。ワクチン接種補助も行い、接種の推奨と事業継続の両立を推進しました。機関会議で労務管理の学習を行い、年間休日や有給休暇の取得を計画化し進捗をチェックしました。有給休暇取得率は昨年より向上しました。

⑤ワークフロー（電子決裁システム）の導入、遠隔でのコミュニケーション

ワークフローは運用を開始し決裁までの時間短縮や紙資源削減につながりました。遠隔でのコミュニケーションは、zoomを活用した採用活動や、Webや動画を活用した管理者研修や商品学習などリモートの活用が定着しました。育児休職中の職員間でLINEグループを作り、手軽に情報共有できるしくみをつくりました。本部以外の拠点でも効率的に働ける環境づくりが課題です。

総代の声

生協は障がい者の雇用を増やして一般の職員にも良い影響を与えているという記事を見て嬉しく思いました。

●ダイバーシティの推進

障がいを持って働くみなさんが職場で活躍する事例を報告。先生や支援団体とも取り組みを共有し合う。

●あいち・東海合同災害対策本部訓練

風水害訓練、地震発生後の対策本部立ち上げ訓練の実施

用語解説

※収益認識会計基準

収益認識会計基準とは、売上に関してどのように認識し、財務諸表上にどのように反映するのかについての基準のことです。2022年度の予算づくりに考慮しています。

COOP22_AICHI_P06_P23_01号議案_CS6.indd 20 2022/04/14 11:31

資料

●商品を通じた社会貢献

コープの森づくり。沖縄・恩納村漁協サンゴの植え付け 49 万 3237 円
北海道・野付漁協のお魚を増やす植樹 41 万 6908 円
インドネシア・マングローブ植樹 11 万 6007 円
うなぎ資源対策協力金　39 万 885 円
スクールバッグ提供支援プロジェクト　85 個

●協同組合間の取り組み

JA あいち海部・JA あいち経済連とあいち米初出荷式。
大学生協との人材交流、医療生協との交流。

●コープあいち くらしたすけあいの会

家事や育児などで「困った時はお互いさま」と支え合う有償のボランティア活動。
・活動時間 2 万 9182 時間
・利用会員 1008 人　協力会員 390 人　賛助会員 344 人

052-781-6179 まで

●官民連携について

新城市、豊川市、名古屋鉄道株式会社と連携。山間地域でのくらしを守る配送にドローンを活用する実験。

●募金について

8月豪雨災害支援募金
8,299,723 円（9月1日～ 10 月 17 日）
　募金の配分先
長野県、広島県、福岡県、佐賀県、長崎県
一部を災害支援活動を行う団体へ寄付しました。

2021 年 8 月大雨災害支援募金
ご協力をお願いします
コープあいちでは、被災された方への義援金・支援金を目的とした募金を組合員のみなさんに呼びかけますので、ご協力をお願いします。
生活協同組合コープあいち

●脱退時の出資金の取り扱いについて

生協法第 19 条は、「組合員は、90 日前までに予告し、事業年度の終わり（3 月 20 日）において脱退することができる」と定めています。これに沿って、自由脱退や減資の手続きは事業年度の終わりにおいて行うことが求められました。
現状は随時受け付けていますが、2022 年度より、法令に沿った手続きができるようにしています。

＊「自由脱退」とは、例えば県内への転居や、組合員の意思で生協を利用しなくなったことによる脱退のことで、「法定脱退」以外の脱退を指します。（法定脱退とは、県外への転居や、組合員ご本人の死亡、除名による脱退のことです。法的に組合員の資格を失うため、法定脱退と呼ばれています。）
＊「減資」とは、生協に預けた出資金の額を減少させることです。

組合員のみなさんへ大切なお知らせ

脱退時や減資時の「**出資金の返還時期**」を 2022年3月21日より **変更**します

■コープあいちでは、これまで、組合員の都合による脱退（自由脱退※1）や、減資（出資金の一部返還）のお申し出をいただいた場合は、組合員の利便性を考慮して、できるだけ速やかに出資金を返還してきました。

■2022年3月21日以降は、生協法および定款※3に沿って、12月20日までにお申し出いただいた「自由脱退」や「減資」については、翌4月に出資金を返還いたします。「法定脱退※2」の場合は出資金の返還時期に変更はありません。

※1 **自由脱退**…組合員の都合で生協を利用しなくなったことによる脱退（「法定脱退」以外の脱退のこと）
※2 **法定脱退**…県外への転居や、組合員ご本人の死亡、除名による脱退のこと
※3 **生協法および定款は次のことを定めています。**
- 生協法第19条　組合員は、90日前までに予告し、事業年度末（3月20日）において脱退することができる。など
- 定款第10条　組合員は、事業年度の末日の90日前までにこの組合に予告し、当該事業年度の終わりにおいて脱退することができる。など

Webサイトでもご確認できます▶
http://coopaichi.tcoop.or.jp/qa/#qa06

問い合わせ先
経理部（月～金 10:00～17:00）TEL 052-703-1573

出資金ってなあに？

出資金は「こんな商品が欲しい」「こんなサービスがあると便利」といった、くらしの中から生まれるさまざまな組合員の「ねがい」を実現するための大切な資本です。

1. 生協は、組合員のみなさんが出し合った出資金を「もとで」として運営しています。

2. 出資金は、お店づくりやさまざまな活動の資金として、組合員のために使われます。

3. 組合員一人ひとりの出資金が増えることで…。

4. より充実した商品の開発や企画・お店づくりなど、安定した事業の基礎を作ります。

COOP22_AICHI_P06_P23_01号議案_CS6.indd 21　2022/04/14 11:31

第1号議案 2021年度活動のまとめと事業報告書及び決算関係書類の承認の件

資料

●店舗の「事業継続にかんする基準」について

店舗事業について、長期的には黒字化の姿を描き、改善スピードを高めることを目的として第12回通常総代会で事業継続にかんする基準の改訂を報告しました。今年度の経営結果から次の基準に基づき運用されます。

店舗の「事業継続にかんする基準」

（目的）

第１条　コープあいちの店舗事業が、「くらしによりそいあたたかなお店」「地域になくてはならないお店」としてくらしに役立つために、店舗事業を健全化（黒字化）し、またその維持のために店舗の「事業継続にかんする基準」を定めます。

（特別対策店の指定）

第２条　年度決算において直接剰余赤字の場合、理事会はその店舗を「特別対策店」に指定し、損益改善の対策を実施します。

２　最長２ヶ年の期限内に直接剰余が黒字化した場合は「特別対策店」の指定から外れますが、そこまで改善できなかった場合、又は改善が見込めないと理事会が判断した場合には第３条（閉店の決定）の対象となります。

３　その店舗の建物が賃借物件の場合には、第１項の「直接剰余赤字の場合」を「直接剰余が１％以上の赤字の場合」に、第２項の「直接剰余が黒字化した場合」を「直接剰余がマイナス１％未満に改善した場合」に読み替えます。

４　新店開設、既存店改装は３年目以降から特別対策店基準を適用します。

５　指定から外れたのち再度の指定となった店舗については理事会で事業継続の可否を検討し、損益改善の可能性があると判断した場合、期限を別途定めて（基本は１年間）損益改善をめざします。改善が見込めないと判断した場合は第３条の対象となります。

６　近隣への「置換え」が決まった場合は、特別対策店の指定から除外します。「置換え」は複数の店舗を一つの店舗に置き換えることもあります。

（閉店の決定）

第３条　理事会は以下の各号のいずれかに該当する店舗の閉店を決定し、閉店のお知らせを該当の組合員組織に行います。

⑴第２条により直接剰余黒字化（建物が賃借物件又は一部賃貸物件の場合は直接剰余率がマイナス１％までの改善）が見込めないと判断した場合

⑵店舗開設から20年以上を経過し、施設の老朽化や新耐震基準に適合しないなど、利用者の安全確保の観点から継続営業が困難と判断した場合

⑶近隣により良い出店候補地が確保でき「置換え」が決まった場合

２　理事会は、該当の組合員組織との相談をふまえて閉店時期を決定します。

３　閉店にあたっては、事前のお知らせ活動を丁寧に行い生協での継続利用に努めます。

４　第１項の各号に該当する場合でも、当該店舗の閉店がコープあいち全体の単年度決算に大きく影響を与える恐れがある場合には閉店時期を遅らせる場合があります。

（本ルールの改廃）

第４条　改廃は、理事会が決定し総代会に報告するものとします。

COOP22_AICHI_P06_P23_01号議案_CS6.indd 22 2022/04/14 11:31

資料

●「組織運営方針」「参加と運営のしくみ・柱 2」「同＜支援＞組合員参加を支援する制度・しくみ等」の見直しについてブロック連絡会で話し合いを重ね合いました。

⑴第 12 回通常総代会では、ブロック連絡会での提案のうち、概ね理解された内容を確認し、まだ話し合いが必要とされる提案については継続して話し合いを重ねることを報告しました。
⑵ 2021 年度はブロック連絡会での話し合いを重ね、欠席された方へも可能な方は直接訪問するなどお知らせしながら意見を集め、補強修正しながら最終提案をまとめてきました。
⑶組合員活動に参加していない総代のみなさんへも情報共有として広報誌コープあいち通信を通してお知らせし、総代会議などで内容について理解が得られるように報告をしました。
⑷今回、第 13 回通常総代会第 2 号議案でコープあいちの組織運営方針の改定を提案し、組合員活動が地域で旺盛に広がっていくことをめざします。
⑸総代のみなさんへも組合員活動への関心や参加のきっかけづくりとして情報を発信していきます。

●身近な地域のつながりの場

コープあいち地域委員会	27 委員会
くらしのテーマグループ	114 グループ
お店委員会	13 グループ
子育てひろば	11 グループ
ふれあいひろば	8 グループ

●コロナ禍での取り組みとして Web を活用した取り組みが広がりました。

COOP22_AICHI_P06_P23_01号議案_CS6.indd 23　2022/04/14 11:31

第2号議案　2022年度活動方針と予算及び事業計画の設定の件

（本文中の※は用語解説のある語句です）

Ⅰ　2022年度の活動方針

1.くらしをとりまく世の中の動き

⑴コロナ後の社会変化

年明け以降オミクロン株の感染が広がり、3回目のワクチン接種始まっていますが、新たな変異株発生の可能性もあり、コロナ禍の収束はいまだに予測できない状況です。コロナの収束が見通せない中、雇用不安や食料品や電気ガス、ガソリンの値上げなどが続き、貧困と格差の拡大が危惧されています。また、私たちのくらしは、少子高齢化、環境問題、異常気象、自然災害、平和問題など多くの課題に直面しています。

三密を回避する接触制限、在宅勤務、オンライン会議などによる活動拠点の変化など新しい生活様式が浸透しました。今後も、コロナ禍で定着したこのような生活が続くと思われます。気候変動により2050年脱炭素社会の実現の必要性が高まり、また人口減、少子高齢化が一層すすみ、社会的孤立のリスクが高まることも予測されます。一方で人生100年時代に対応した生涯現役･生涯活躍社会の実現が求められています。

⑵政治をめぐる情勢

新しい内閣は信頼と共感を得られる政治が必要だとして、「新時代共創内閣」を掲げています。例えば最低賃金の上昇や男性の育児休業取得促進が施行され、今後の具体的な施策に注視していくことが求められます。

ロシアのウクライナ侵攻が現実となり、コープあいち理事会として反対声明をだしました。改めて平和の大切さを訴え続けながら、「戦争のない世界」や「核兵器のない世界」にむけて、日本の核兵器禁止条約批准への動きや核保有国の動きに注目する必要があります。

⑶流通業界の動き

新型コロナの影響でキャッシュレス、セルフレジなど非接触型サービスが定着し、値上げが続きくらしの厳しさから価格志向がさらに強まっています。

宅配事業に進出する企業が増加しています。大手スーパーが次世代型ネットスーパーの開始に向けて準備をすすめています。コロナ禍で働き方の見直しもすすみ、年末年始を休業にする企業も増えています。

⑷SDGsの広がり

SDGsの取り組みは世界的に浸透し、具体的行動を起こすことが求められ、生活者の関心もモノの豊かさから心の満足にシフトすると捉えられます。2030年までに解決･達成すべき目標に向かって、より多くの方々が自分のできることを考え、早急に行動することが求められています。

2.基調

コープあいち2030年ビジョン、第4次中期方針の2年目にあたり、22年度以降のコロナ後を見据え、事業･活動に取り組んでいきます。

⑴基調１　2030年ビジョン（私たちがめざしてきたことを、SDGsに沿ってさらにすすめます）の実現をめざします。

⑵基調２　コロナ後に向けて生協の役割を明確にし、くらしへのお役立ちを広げていきます。パートナーシップで安心してくらせる地域づくりをすすめます。

⑶基調３　組合員、役員、職員の全員参加で2030年を見据え改革し、チャレンジし、コープあいちのファンを増やします。

COOP22_AICHI_P24_P37_02号議案_CS6.indd 24　2022/04/13 19:05

3.重点課題

2022年度の重点ポイント

①組合員（仲間づくり）、利用者づくり活動はコープあいち全体の最重点課題とし、全分野ごと（後方も含め）の連携を強め、総合力を大切にすすめます。宅配は伸長、店舗事業は赤字削減、福祉事業は安定的黒字経営をめざします。
②商品活動は、改めて「あいちを食べよう、日本の食をたいせつに！」大運動を強化し、組合員の参加が商品利用につながる取り組みをすすめます。組合員活動は新たな「参加と運営のしくみ」を周知し、組合員活動の見直しと、新たな取り組みの推進で再構築をめざします。
③社会の変化やくらしの厳しさに向き合い、地域、行政、他団体との連携を強め、安心してくらせるまちづくりに貢献します。

⑴＜お役立ち＞　～コープあいちのさまざまな事業を通しみんなの想いをつなげます～

①食を中心に、生涯を通してくらしへのお役立ちができる事業をめざします。
○仲間づくりはコロナ後の変化するくらしに求められる「商品」を軸として、生協の良さを伝え、コープあいち全体で年間3.5万人の新規加入と純増1.5万人、経常剰余率は1.8％目標をめざし組合員の期待に応えていきます。
○宅配は、利用定着の取り組みと重点エリアの仲間づくりを強化します。
○店舗は、持続可能な事業への転換に向け赤字削減に取り組みます。
○福祉は、引き続き人材確保、安定的な黒字経営をめざし、生協10の基本ケアのレベルアップをめざします。
○共済は、学生総合共済や新社会人コースなどたすけあいのしくみで生涯を通じた保障の充実をお知らせし共済を通じた生協ファンを増やします。

②生協のしくみを活かし、行政や地域の諸団体のみなさんとも連携して、安心してくらせるまちづくりに貢献します。
○防災支援協定は改めて協定内容を確認しながら、今日的な対応の充実をはかり、子育て支援協定※は全行政区(54行政区)に広げることを目標に締結をすすめ、連携することでコープあいちの事業と活動を広めます。行政訪問で協定書の確認の中で具体化できることや情報交流を行います。
○各事業はくらしのサポート事業、福祉事業など事業間連携を強め、総合力で組合員のくらしをささえ、ワーカーズ※、あんきネット、くらしたすけあいや行政、地域の諸団体のみなさんと連携した事業・活動を通じて安心してくらせるまちづくりをめざします。

⑵＜SDGs＞　～組合員・地域のみなさんと一人ひとりができることから始めましょう～

①地域での活動を積み重ね、世界の人々とともに、格差や貧困・飢餓のない社会の実現に貢献します。
○ユニセフ活動の推進と地域組織(愛知県ユニセフ協会)づくりにむけて、準備会の設置を計画に沿ってすすめます。
○商品利用を通じた「レッドカップキャンペーン」や「ディルマ紅茶スクールバッグ提供支援プロジェクト」など「寄付付き」商品の意味や価値についてつたえ、利用につなげます。
○国際協力活動としてアイキャン（ICAN）と連携して書き損じはがきや現地との交流など、フィリピンの子どもたちを応援する取り組みを広げていきます。

②お互いに認め合いながら一人ひとりが大切にされる社会をつくります。
○新人事制度づくり、ダイバーシティ＆インクルージョン推進を強化します。高齢化する職

用語解説
※子育て支援協定
子育て支援協定とは、児童虐待防止のための見守り活動や食育に関する講座の開催など子育て支援に関する環境づくりを推進するために行政と締結した協定です。

用語解説
※ワーカーズ
ワーカーズとは、労働者が資金を出し合って事業運営を行っている企業組合です。

COOP22_AICHI_P24_P37_02号議案_CS6.indd 25　2022/04/13 19:05

第2号議案 2022年度活動方針と予算及び事業計画の設定の件

員の活躍をサポートする制度をつくり、職場運営を改善します。
○キャリアアップにつながる教育・研修を強化し、職員育成をすすめます。
③くらしの中でエシカル消費をすすめます。
○商品を中心にエシカル消費が広がるよう、商品案内や店舗の売り場で商品の価値や取り組みの意義を伝え、エシカル商品普及の取り組みをすすめます。エシカル商品やエシカル消費につながる行動などの学習会や利用、活動を通じて、普及、啓発の取り組みを行っていきます。
○「あいちを食べよう、日本の食をたいせつに！」大運動として、ブロック内で連携し、県内主要JA、地元産地・生産者・メーカーとの交流を発展させ、モニター活動や学習活動を通して、組合員の声を生かして県内産物の利用を広げる取り組みをすすめます。「いいともあいち※」運動も連動して、生産者と組合員、職員との交流を通じ地産地消、県内産物の利用を広げる取り組みをすすめます。
④脱炭素社会・循環型社会・自然共生社会の実現に向けて、くらしのあり方を見直し、事業を変革します。
○「2030年ビジョン」に基づいて「コープあいち環境政策」を見直しました。
○容器・包装におけるプラスチック使用量の削減、紙資源の使用量の抑制、食品ロス削減については、数値目標を定め東海コープ事業連合とも連携しながらすすめます。
○環境問題について、くらしの中で環境について関心をもっていただけるよう、「SDGsエシカルチャレンジ2022」を年3回、各5,000名の参加をめざします。
⑤被爆・戦争体験の平和への想いを次世代に継承し、世界の人々への発信と対話を広げ、核兵器廃絶と世界平和の実現をめざします。
○引き続き、核兵器禁止条約の日本の批准を目指し署名活動を旺盛にすすめます。また、次世代につなぐ平和活動（戦争体験、被爆体験の継承）の具体化としてデジタルアーカイブ（デジタル保存・公開）を通して学習会をすすめます。
○平和の取り組みを広げる企画として、「平和のぬりえ＆ピースメッセージ」、「平和の川柳」等をのべ1,000作品をめざして取り組みます。

⑶＜チャレンジ＞　～社会の変化に機敏に対応し、のりこえていきます～

①食の安全・安心をリードし、いのちとくらしにかかわるさまざまな分野で、社会的水準を高めるフロントランナーをめざします。
○商品事業では「あいちを食べよう日本の食をたいせつに！」大運動として、愛知県をはじめ東海3県の商品企画を強化し、あいち県産の商品が意識できるような取り組みを通して、県内産商品について職員が学習・理解し組合員に広げていきます。
○ブロックごとに地域とのつながりをすすめ、県内産物を中心に新たな地元産物の産地開拓や商品開発、利用普及を組合員、生産者、メーカー、ブロックが一体となって取り組みます。地元産地の商品を利用することで、地場産地や地場の産業や生産者を守り応援していきます。同時に、国内の生産と消費・食料自給率の向上に関心が持てるよう、オンライン学習や動画作成などにもチャレンジします。
②一人ひとりのくらしに寄り添いながら、社会の変化に対応し、災害時にもたすけ合い・ささえ合える地域社会をつくります。
○大規模災害や様々なリスクに備え、BCP（事業継続計画）の改定や実践的なBCP訓練（地震や風水害）を定期的に行います。

用語解説

※いいともあいち
いいともあいちとは、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという運動です。

COOP22_AICHI_P24_P37_02号議案_CS6.indd 26 2022/04/13 19:05

○地域とのネットワークづくりはブロックを中心にすすめていきます。SDGs助成制度の開始により、助成団体とのネットワークづくりをすすめ、日常的に連携できる関係、必要な時に助け合える関係を構築します。

③技術の進化を積極的に取り入れながら、情報発信の充実や事業革新にチャレンジします。

○コープ宅配はより利用しやすいしくみの改善を東海コープと連携し改善します。

○コロナ禍ですすんだWebによる学習会などを組合員に広めます。ミニ学習会、リモート産地見学工場見学、ライブ学習会など組合員が自主的に行えるようにフォローをしていきます。

⑷＜みんなの力＞　参加・共感・信頼

①人の力

○「組合員参加と運営の見直し」について、2022年総代会で確認し、2022年度は2023年度からの運用にむけ準備し、滞りなく移行できるようにします。

○モニター活動など利用を通じてひとりでも参加できる活動を広め、身近な地域での活動や総代活動のお知らせをしていきます。感染対策を徹底し、「コープひろば※」の再開を検討します。また、「オンラインコープひろば」や少人数での開催など、工夫をして開催します。

○4つのダイバーシティ課題推進を継続します。人事制度との連携や学習を継続し、職員がダイバーシティ推進を実感でき、お互いに尊重し協力しあえる職場をつくります。

○職員育成は人事異動を通して経験を積み、現地で直接学ぶことやWeb、動画を組み合わせ、商品学習、管理者研修、節目研修、次期経営幹部研修、他職場体験研修等を計画します。実践事例を共有して学び合い、次のキャリアを見据え、職員がコープあいちで働き続けたいという思いを大切に、主体的にチャレンジする職員育成や組織づくりをめざします。

○東海コープ安全運転センターの発展的解消に伴い、コープあいちとしての安全運転教育を職場に定着させ、新城センターに新設を検討している運転研修施設を活用して、安全運転教育の推進と事故違反を削減します。

②連帯の力

○農業を軸とするネットワークを生産者やJAなどと連携し、生産者との顔の見える関係を強化し、栽培自慢、はぐくみ自慢の商品の価値を広げ普及します。引き続き、関係会社スリーCの農業事業を支援し、職員や組合員は「収穫祭」などの体験やボランティア活動を通じて農業の大切さを広めていきます。

○大学生協への支援や、JA、医療、ワーカーズなどと協同組合間連携を強化し、地域づくりや人材交流をすすめます。

○地域の大学生と連携した取り組みを検討し、事業・活動に生かします。

③願いをカタチにする力

○広報広聴・デジタル推進部を立ち上げ、組合員とのコミュニケーション強化（声の循環・組合員活動・商品活動など）とSNSを活用した、くらしに役立つ情報を提供し、組合員の利用と運営参加、仲間づくりの推進を図ります。

○モニター活動など利用を通じた様々な組合員の声に応え、そのことを見える化し、頂いた声を共有し、双方向のコミュニケーションを大切にしていきます。

○組合員の参加を広げるためSNSを通して組合員発の情報発信を強化します。

○広報についてWebサイトの整理にむけてリニューアルも検討します。

用語解説

※コープひろば
コープひろばとは、毎月1つのテーマについておしゃべりする場所で、仲間やくらしのヒントを見つけるきっかけをつくるところです。コープサポーター（進行役）がいるので、1人で参加しても大丈夫です。

COOP22_AICHI_P24_P37_02号議案_CS6.indd 27　2022/04/13 19:05

第2号議案 2022年度活動方針と予算及び事業計画の設定の件

4.分野別の重点課題

(1)宅配事業は、コロナ後として変化する世の中のくらしに必要とされる「商品」を軸として、引き続き利用定着と仲間づくりを重点とします。

①仲間づくりは、名古屋市内と人口増加が見込める地域を重点に店舗事業と連携して積極的に推進し、年間30,000人(名古屋市は14,000人)の加入を目標とします。

②テレビ番組のCM放映と連携した現場アポやWeb・SNSによるお友達紹介、イベント参加でコープあいちの認知度を向上させ、組合員による仲間づくりに役立てます。

③店舗、福祉、共済、くらしのサポート事業、広報、組合員活動と連携し食を基本に生活全般にお役立ちする頼りにされる事業として成長事業路線を継続します。

④“SDGsの視点とふくしの視点”を大切に宅配事業の発展に引き続き挑戦します。安心してくらせる持続可能な社会の実現のため、組合員のくらしの願いや声を、商品・商品案内・注文のしくみ等の改善につなげます。

⑤「商品」「しくみ」の強化を行う重点世代は、若年層(30・40代・子育て)と長年利用していただいているシニア層を位置づけ生涯に渡る利用をめざします。

⑥商品を軸に、予約登録、eフレンズ登録の普及と活用を中心とした利用定着を図ります。コープサポーター、職員による加入者・再開者フォローを行います。

⑦SDGsの視点から「つくる責任」「つかう責任」を中心に、エシカル消費を推進していきます。

総代の声
もっと加入方法とかもしっかり宣伝できると問い合わせにつながってよいのではないでしょうか。

総代の声
法人のところに訪問するというのはとてもいいことだと思う。

総代の声
eフレンズを活用していると、配達状況等も確認することができて、ありがたい。担当者によって、正確に反映されていない場合がある。

総代の声
利用して3年。予約登録で牛乳、卵、納豆を利用している。生協たまごは新鮮で他では買えない。生協たまごを食べて、食べ物への見方が変わった。

総代の声
年を取ると注文書に記入するのが大変になるので、高齢者への対応も検討してほしい。

総代の声
世代別など、カタログを選択できるようにするなどして、不要な紙を削減できるといい。

総代の声
SDGsの17の目標について、この取組はどれにあたるのか組合員に紙面でわかるようにして欲しい、良い取り組みをしているのでしっかりアピールして欲しい。

総代の声
一人暮らしの高齢世帯の方の要望に応えられるような少量の規格を増やしてほしい。

総代の声
SNSやインターネットは便利ですが、生協の利用者は高齢者も多いので取り残されないようにして欲しいです。シンプルで分かりやすい高齢者専用のチラシが必要と思います。

総代の声
生協でないと手に入らないものもあるため、辞められません。

COOP22_AICHI_P24_P37_02号議案_CS6.indd 28 2022/04/13 19:05

⑵店舗事業は、コロナ後に向けて、組合員のくらしに寄り添い信頼されるお店づくりを目指します。

①持続可能な事業に変えていくため組合員の期待に応える商品普及に取り組み、生鮮強化、品揃えの見直しによる値入改善、自動発注導入等で業務改善をすすめ生産性向上による損益改善を目指します。

②店舗政策の置き換え、既存店改装、修繕基準に基づき、施設の老朽化の環境整備を実施し、持続可能な店舗事業を目指します。

③仲間づくりの目標人数5000人を達成し、来店組合員数アップにつなげます。

④4つの強み「鮮度」「美味しさ」「こだわり」「SDGs」で組合員に喜ばれる商品普及をすすめ、価格訴求だけではなく価値訴求として取り組みます。

⑤継続して価値訴求に取り組みながら、組合員の暮らしが厳しくなる事から価格訴求にも向き合うためEDLP化※をすすめていきます。

⑥商品企画や品揃えの見直し、利益管理を徹底し利益率24.5％を目指します。重点部門を鮮魚、精肉、日配の3部門とします。SDGsの視点から食品ロスを削減し利益改善をすすめます。

⑦基本の運営4課題（鮮度・品揃え・クリンリネス・接遇）のレベルアップを図ります。組合員の声や思いを受け止め組合員満足度を高めます。LINEを活用した組合員モニター制度を年2回実施します。

⑧全店舗での自動発注システムの運用開始と水産部門へのEDI※導入により業務改善をすすめ、日常的な店内作業改善の取り組みをすすめます。

⑨生協の総合力を生かした取り組みで地域とのつながりを広げます。

総代の声

経営について、店舗の黒字化について毎年言っている気がする。黒字化するプロジェクトを立ち上げることをしないといけないと思う。

総代の声

店舗ポイントは、500ポイントになると500円券が発行されるが、頻繁に利用できない人には非常にハードルが高い。もっと少額で、例えば300円でも発行されるように、ハードルを下げてほしい。

総代の声

夕方店舗に行くと品切れが多く、魅力を感じない時がある。

総代の声

ポイント還元が嬉しいです。欲を言えば、宅配と店舗のポイントが一緒になってほしい。店舗のポイントは一定のところまで貯まらないと使用できないので改善してほしいです。

総代の声

お店に行った際には「目玉」が欲しい。平日は空いているので目玉をつくれば来店者も増えるのではないか。

用語解説

※EDLP化

EDLP（エブリデーロープライス）とは、期間を定めて価格を下げることとは異なり、常に低価格で商品を提供することです。コロナ禍のくらし応援としています。

用語解説

※EDI

EDI（エレクトロニックデータインターチェンジ）とは、発注や請求などの各種取引情報を取引先と双方向で通信し、自動的に処理する仕組みです。紙の削減や業務効率が向上します。

総代の声

LINEのお友達登録について、まだまだ知らない人が多いのでは。

総代の声

お店で野菜などの商品レシピを動画で流したりしたらどうでしょう。

COOP22_AICHI_P24_P37_02号議案_CS6.indd 29　2022/04/13 19:05

第2号議案 2022年度活動方針と予算及び事業計画の設定の件

⑶福祉事業は、さらに進む超高齢社会に向け、事業の拡大や投資、処遇改善が行えるよう、安定した黒字経営をすすめます。

①利用者人数の増加、稼働率の向上、身体介護比率の向上、介護度別利用者割合指標達成への実践力をレベルアップさせ、四半期ごとに掲げた目標を達成させます。

②今後、介護事業所での実施が求められるインフォーマルサービス※（介護保険制度外サービス）について、モデル事業所を設定して事業の組み立てをすすめます。

③生協10の基本ケアを実践し、質の高い介護を利用者へ提供します。生協10の基本ケアの意義や考え方、実技をブラッシュアップさせ、レベルアップを図ります。

④他法人の介護事業者、利用者・ご家族、組合員など地域への情宣や学習会を計画し、コープあいちの福祉事業について周知活動に取り組みます。

⑤担い手確保は、新卒対応・中途採用など計画的に採用が行えるようにすすめます。介護職員初任者研修※・高齢者日常生活支援員研修※は継続して取り組みます。

⑥新しくホームヘルパーに導入した業務用スマホを活用し、職場内のコミュニケーションが活発に行えるようにアプリ等も活用してすすめます。

⑦利用者アンケート、利用者訪問、介護者交流会などで声を聴き、事業運営やサービス内容に活かします。

⑧ケアコープ豊橋の新規事業転換はサロン活動が可能な施設を設置しコープあいちの拠点事業のモデルとなるよう組み立てます。名古屋市（長久手市を含む）での地域密着型介護施設※の開設は、継続課題として検討をすすめます。

総代の声

介護のことに興味があるが、入り口として家族の介護に使えるようなミニ学習があるとよいと思います。

総代の声

住んでいる地域は高齢化が進んでいる。あんきネットのことは知らなかった。ぜひ、お知らせ活動をしていって欲しい。

利用者の声

子供のように心待ちに待っています。病院の治療の為、アイロンがけ、買い物、特別な掃除など一時間有料で助けてほしいです。

利用者の声

いつも体調についての心くばりしてくださり嬉しく思います。安心して何でも話せる強い味方です。これからも末永くおつき合いが出来るといいです。

利用者の声

介護保険ではできないことがある。（玄関の掃除、仏間）
臨時に、料理や掃除等が必要になった時に対応してくれる枠があると良いなと思います。

用語解説

※インフォーマルサービス
インフォーマルサービスとは、介護保険制度外のサービスです。例えば、病院等への付き添いやゴミ出しなどが該当します。

用語解説

※介護職員初任者研修
介護職員初任者研修とは、訪問介護を行う上で必要な資格を取得するための研修です。コープあいちではこの研修を独自で開催しています。

用語解説

※高齢者日常生活支援員研修
高齢者日常生活支援員研修とは、行政の日常生活支援事業を行う上で必要な資格を取得するための研修です。行政から委託を受けてコープあいち独自で開催しています。

用語解説

※地域密着型介護施設
地域密着型介護施設とは、例えば、通所・宿泊・訪問のサービスを提供する「小規模多機能型居宅介護施設」や認知症の人が少人数で家族のように暮らせる「グループホーム」などの施設のことです。

COOP22_AICHI_P24_P37_02号議案_CS6.indd 30 2022/04/13 19:05

⑷組合員活動は、コロナ禍で活動のあり方や方法を再構築し、商品を中心に仲間づくりや利用など事業とつながるようにすすめていきます。

①商品活動は、産消提携・産直、食料自給率向上の取り組みをすすめます。学習活動は新型コロナ感染拡大状況を考慮した新たな活動スタイルを模索します。地域産物を使った商品開発・改善、利用普及の取り組み、食にかかわる学習会や情報の提供など組合員が関心を持って活動に取り組めるような支援をすすめます。

②環境活動は、持続可能な地球環境と社会の実現を目指すとりくみが今、強く求められています。「くらしのあり方の見直し」「事業の変革」「エシカルな消費行動のひろがり」を通じて2030年ビジョンで「めざす姿」を確実に実現するために、コープあいちは従来の環境政策を「コープあいち環境政策2030」として見直します。(33ページ)

③くらしを守る運動の推進は、組合員の主体性を大切に、参加が広がるようにすすめます。

・平和活動は、身近で誰でも参加できる取り組みから新たな参加を広げ、被爆体験や戦争体験を次世代へ継承し、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名など核兵器禁止・廃絶と平和を願って行動する取り組みを広げます。

・あいちでの備えとしての防災・減災活動、大規模災害発生時の支援活動に取り組みます。

・食の安全安心、食育、子育て支援に継続して取り組みます。

・国際協力活動・ユニセフ活動はユニセフ協定地域組織(愛知県ユニセフ協会)の発足をめざして推進します。

④「組織運営方針」「参加と運営のしくみ・柱2」と「同＜支援＞組合員参加を支援する制度・しくみ等」の見直しを提案し（35ページ）2023年度から運用します。「＜支援＞組合員参加を支援する制度・しくみ等」の充実や、活動交流の場づくりをすすめます。

⑤広報は、仲間づくりがすすむように、コープあいちの取り組みが組合員や未組合員、職員にも周知できるように各事業部との連携強化をはかっていきます。

総代の声
地域委員会、組合員活動が発展していかないので、新しい組合員活動の提案を楽しみにしている。

総代の声
店舗と宅配を利用していますが、組合員活動グループの存在を初めて知りました。組合員活動のチラシがあると良いと思うし、お知らせ方法も工夫した方が良いと思います。

総代の声
オンラインでもいいので、困っているママたちに寄り添いたいです。生協として取り組みができませんか。人とのつながりを大切にすべきだと思うけど、その活動を支えてほしいです。

総代の声
セカンドハーベスト、まごころ便など生活困窮者に対してもっと支援できる取り組みができるとよい。

総代の声
江南市でも生協を広め子育て支援にかかわる連携、協力に関する協定がされるとよい。

総代の声
SDGsの言葉は広まってきたがエシカル消費は広まっていないので広げていってほしい。

総代の声
コープあいちはいいことをしているが活動の中身が見えにくい。(例えば協定後の取り組みなど)もっと中身をPRが必要だし取り組みの中身の情報を提供すべき。

総代の声
今回アンバサダーやインスタグラマーとコラボして企画するなどオンラインに踏み切ってもらった、オンライン会議も画期的でようやくスタートしたかなと思っているので今後も情報化をすすめてほしい。

総代の声
メーカーの動画は良い。商品の工場などの動画を見ると、安心して購入できます。動画発信は大切だと思います。

COOP22_AICHI_P24_P37_02号議案_CS6.indd 31　2022/04/13 19:05

第2号議案 2022年度活動方針と予算及び事業計画の設定の件

⑸くらしのサポート事業、共済事業は、すべての事業と連携し、組合員さんに頼りにされ、生協の経営に貢献できる事業としてすすめます。

①夕食宅配は、日々の食事や買い物が困難な方々へのお役立ちの視点で栄養バランスの良い食事の提供ができる事業として利用を広げ、配達者の確保をすすめます。

②モーニングコープは、宅配事業と連携し、くらしに必要とされる「食」を軸にしながら「国産・地元」など特化した商品を増やし利用者づくりをすすめます。

③葬儀と供養(お墓)は、コープあいち提携業者の認知度を高める活動を重点に生協の各事業と連携して周知活動に取り組み、利用件数を増やします。

④住まいのコープは、ふだんの暮らしの中で住まいの困りごとや相談に対し利用者の立場で応え、住み慣れた我が家に住まい続けることができるように取り組みます。

⑤買い物支援は、商品を見て購入する楽しみを持ち、買い物や人とのかかわりを持つことで健康づくりにつながり、地域に暮らし続けられるお手伝いをします。

⑥共済事業は、《学生総合共済》の募集開始やマイカー共済取扱いなど商品の多様化や《たすけあい》全体の改定、《ずっとあい》の料率改定などを予定をしています。制度改定も含めて保障について組合員へ丁寧に案内し、多様なニーズに応える推進を行います。

総代の声
共済は組合員どうしが助け合っていることをもっと伝えるべき。

総代の声
介護食や医療食もあり、食に関してはこれからも困らないで自宅でくらしていけそうなので本当にありがたい。

⑹管理分野は、人への投資を重点課題とし、生産性向上と事業を継続できる組織づくりに取り組みます。

①新人事制度、評価制度の導入に取り組み、職員教育を強化します。ダイバーシティ＆インクルージョンや安全運転を推進し、お互いに尊重し協力しあい働き続けられる職場づくりをすすめます。

②経営管理の法順守や執行状況の点検を強化し、分かりやすい内部統制システムへの改善と管理者の管理レベル向上、様々なリスクへの対応、実践的なBCP（事業継続計画）づくりに取り組みます。

③各法改正(主に電子帳簿保存法、個人情報保護法、育児・介護休業法、公益通報者保護法、インボイス制度※)への対応をすすめ、専門分野の人材育成を強めます。

④管理分野業務のデジタル化推進を通じてペーパーレス化や業務の見直しをすすめ、生産性向上と事業を継続できる組織づくりに取り組みます。

⑤配送センターの土地確保、太陽光発電設備など環境対策について管理分野での取り組みを整理しすすめます。

総代の声
出資金の解約の件ですが、死亡、県外への引っ越し等はどうなるのか？出資金の返金方法が変わったことをしっかりお伝えし、加入していただけるようにしていく必要があるが、このコロナ禍の中で家計事情など、困っている方もみえるので臨機応変に対応できるといいのでは。

用語解説
※インボイス制度
インボイス制度とは、軽減税率の導入により複数の税率ができたとき、消費税の仕入税額控除に適格請求書（インボイス）などの保存が必要となる制度です。

COOP22_AICHI_P24_P37_02号議案_CS6.indd 32 2022/04/13 19:05

「コープあいち環境政策2030」について

2010年、コープあいち創立時に策定した「コープあいち環境政策」は、2011年の東日本大震災と東京電力福島第1原発事故、2015年に国連で採択されたSDGsやCOP21で採択された国際的な温室効果ガス削減目標（パリ協定）など、時々の変化に対応するため都度、見直しを行ってきました。

その後、地球温暖化問題、プラスチック問題、食品ロスの問題など地球環境・社会環境をめぐる状況はさらに厳しさを増し、新たな対応が求められています。

こうした状況を踏まえ、コープあいちは、「2030年ビジョン」の確実な実現のため、従来の環境政策を「コープあいち環境政策2030」として見直しました。環境方針（4つの柱）に沿って見直した主なポイントは以下のとおりです。

環境方針1（脱炭素社会の実現）における見直しのポイント

■見直しの視点

2015年のパリ協定では「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をする」という目標が掲げられました。しかし、昨年11月に英国グラスゴーで開催されたCOP26では、1.5℃に抑えることが事実上世界の新たな目標になり、追加の施策が各国に求められています。

小牧センターに追加設置した太陽光パネル。発電した電気はセンター内で自家消費します。

■見直しのポイント

「低炭素社会の実現」から「脱炭素社会の実現」へ文言を変更し、温室効果ガス（CO_2）削減目標を上乗せしました。

	従来のCO_2削減目標	新たなCO_2削減目標
2030年目標	40％削減（2013年度比）	46％削減（2013年度比）
2050年目標	90％削減（2013年度比）	100％削減（2013年度比）

環境方針2（循環型社会の実現）における見直しのポイント

■見直しの視点

・プラスチック問題について
　海に流出したプラスチックを海洋生物が捕食して死に至る事例や、マイクロプラスチックが人に与える健康影響も懸念されています。温室効果ガス削減の視点からもプラスチックの使用削減や適切な管理が求められています。

・食品ロス、食品廃棄物問題について
　全世界で飢えに苦しむ人の数が約6億9,000万人（2019年）にのぼる一方で、日本国内では、同年度に年間570万トンもの食品が廃棄されました。具体的かつ有効な食品ロス、食品廃棄物の削減対策が求められています。

・持続可能な森林資源の維持について
　森林の維持は、資源枯渇の側面だけでなく温室効果ガスの削減対策としても重要性を増しています。

COOP22_AICHI_P24_P37_02号議案_CS6.indd 33　2022/04/13 19:05

第2号議案 2022年度活動方針と予算及び事業計画の設定の件

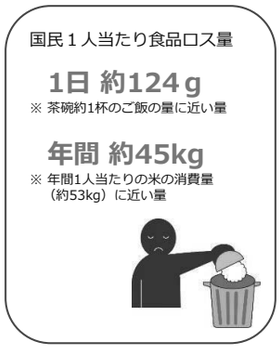
■見直しのポイント

・対策の具体化

「プラスチック対策」「食ロス/食品廃棄物対策」「森林資源（紙）対策」など、性質が異なる対象ごとに個別の重点課題と施策を整理することで、より具体的な内容に補強しました。

・目標設定について

COOP商品に使用する使い捨てプラ容器包装の削減目標と進捗状況を日本生協連、東海コープ事業連合と共有し、協力して減プラ・脱プラ商品を普及します。



資料：総務省人口推計(2019年10月1日)
令和元年度食料需給表（確定値）

COOP商品における使い捨てプラスチック容器・包装使用量の削減目標	2030年に25％削減（2018年度比）

また、主に店舗で発生する食品廃棄物の半減を新たに目標として設定しました。

食品廃棄物の発生量削減目標	2030年に50％削減（2020年度比）

なお、商品案内で使用する紙の使用量削減目標の設定については、今後、東海の3生協と東海コープ事業連合で相談をすすめていきます。紙の使用量は、一旦モニタリング指標に設定し、eフレンズの改善など各施策の効果を検証します。

環境方針3（自然との共生社会の実現）における見直しのポイント

■見直しの視点

自然は単に「保護」の対象ではなく、くらしに不可欠なさまざまな“恵み”をもたらすものであることを再認識し、重点課題を補強しました。

■見直しのポイント

以下のように新たに重点課題を設定しました。

「愛知の自然にふれあい・学び・護る活動を通じて、自然環境や生き物を大切にする農業や漁業、林業の維持発展に貢献します。」

収穫体験を通じて、自然の価値を肌で感じる取り組みを続けてきました。
＊現在は新型コロナ感染予防のため休止中

環境方針4（エシカル消費と責任ある調達）における見直しのポイント

■見直しの視点

商品が消費者に届くまでには、原料調達や製造段階において、環境問題以外に人権問題が発生することがあります。海外の農園や縫製工場等における児童労働や劣悪な労働環境の問題が報告されており「責任ある調達」の視点がさらに重要性を増しています。

■見直しのポイント

エシカル消費に加え「責任ある調達」に関する重点課題と施策を補強しました。

東海コープはディルマの日本総代理店であるワルツ（株）と共同でスリランカの児童にスクールバッグを贈る取り組みを続けています。

COOP22_AICHI_P24_P37_02号議案_CS6.indd 34 2022/04/13 19:05

「コープあいち組織運営方針」「組合員参加と運営のしくみ」の見直しについて

コープあいち組織運営方針

コープあいちは誰もが加入・利用・参加できる地域に開かれた生協であるために「組織運営方針」を定めています。また、「組合員が主人公」の生協づくりをすすめるために、「出資・利用・運営」の原則に沿って、組合員が運営に参加するという仕組みを3つの柱で整え、組合員の運営参加を保障しています。

引き続き、そのことは基本にし、コープあいちのめざす事業・活動を実現するためにくらしや社会の変化に対応しながら改善や見直しを行っていきます。

改めて、より多くの組合員の参加を広げることを生協全体の目標として明確に位置付け、組合員や地域のみなさんに伝え広げていくことをすすめます。

基本視点

誰もが加入・利用できる、地域に開かれた生協になります

1.愛知県に住む誰もが加入でき、どの地域でも存在が見え期待される生協になります。
2.「みんなちがって、みんな大切」お互いを思いやり、配慮しあえる生協になります。
3.くらしに応える事業と人のつながりで、生涯組合員として参加できる生協になります。
4.消費者組織として自立性をたもち、出資金を大切にします。
　協同事業の成果の還元として地域貢献できる生協になります。
5.地域に開かれた生協をめざし、愛知県を7つに分けたブロック単位の運営で、組合員が身近なところで楽しくいきいきと活動し、多様な参加が広がり、「つながり」づくりがすすむようにします。

「組合員参加3つの柱と支援」

柱1　利用を通じて声をだす仕組み

私たち一人ひとりが、利用する場で直接声を出す（参加する）ことで事業を改善し続けます

1.毎週の配達やお店など、利用の場で要望や気づいたことを気軽に出し、私の声で利用しやすい事業に変え続けます。愛知の豊かな農水畜産物、地場商品を大切にして、生産者・メーカーや地域のみなさんと連携し、「あいちを食べよう日本の食を大切に！大運動」を継続してすすめていきます。
2.職員は日常的に正確・迅速な情報提供を行い、組合員の声をしっかりと聴き応え、「つなぐ」役割を果たします。利用に関わって直接意見が出し合える「場」や組合員の声が形にできる職場風土をつくります。
3.組合員と生産者・メーカーの交流をすすめ、東海コープ事業連合の場に組合員の声を反映するプロセスを整備します。

柱2　身近な地域で関心に基づいて組合員活動に参加する仕組み

身近なところで私の関心に基づくつながりと活動を多様に広げ、私のまちに安心と元気を広げます。

1.安心してくらせる地域づくりを地域のみなさん（行政、地域の諸団体等）と一緒にすすめます。くらしに関わる様々な組合員活動を通じ、地域でのつながり（ネットワーク）に参加することをめざします。
2.身近な地域で組合員の自主・自発の活動が広がるようにしくみをつくります。幅広い世代の

COOP22_AICHI_P24_P37_02号議案_CS6.indd 35　2022/04/13 19:05

誰もが気軽に参加できるように工夫し、楽しくゆるやかに学びあいの輪を広げます。
3.商品を通じた活動をブロック毎に広げ、生協の良さや価値をお知らせする取り組みをすすめます。
4.地域の組合員と理事会をつなぐ場をブロック毎に設け、組合員の声を持続可能な事業や活動に生かします。
5.Webを活用した新しいつながりを広げます。

柱3　意思決定に参加するしくみ（総代制）
民主的代議制としての総代制で、多様な地域の実情とくらしの願いを反映し「組合員が主人公」の組織と事業文化をはぐくみます。
1.お互いさまの気持ちで誰もが総代を交代で担い、生協の意志決定に代表で参加します。
2.理事会は総代会決定を執行するプロセスを、わかりやすく明確にします。
3.理事会は、透明性と公開性を高めます。

<支援>　より多くの組合員の参加が広がるように制度を拡充します
1.情報（広報・広聴）の拡充と補助制度を整えます。組合員活動に参加しやすい条件を整え、組合員活動に関わっていない方へのお知らせも強化し参加の場づくりを広めます。
2. 身近な地域でつながる、相談できるしくみを充実し、参加や地域の活動を支援します。
3.事業･活動のサポートを行うコープサポーターの業務を可視化して､組合員に広げていきます。

「組合員参加と運営のしくみ」

「参加と運営のしくみ」を通じて組合員を主人公にした生協をつくりましょう。組合員一人ひとりの願いを実現するため、運営へ主体的に参加する人を広げることを大切にします。

○これまでの経過

コープあいちは合併後、2013年4月21日より、新しいしくみがスタートしました。しかしながら、継続して検討をするしくみ・制度が残っておりました。スタートして活動する中で声を出し合い、つど都度、軽度の見直しを行い身近な地域自主自発の活動が広がるように工夫しながらすすめてきましたが、大きく社会情勢やライフスタイルが変化してきたことで、結果的には参加者が固定化するなど、広がりをつくることができませんでした。

コープあいちが誕生して10年、この間、組合員活動の広がり、参加の仕方、ルールなど組合員のみなさんから色々なご意見を様々な場でいただき、より取り組みやすい活動の仕方へと少しずつ見直しながらすすめてきました。

2019年度にはこの先10年も持続可能な運動(事業･活動)であるためにはどうしたらよいか、これまでをふりかえり、実態と課題を出し合ってきました。活動を広げるために何が必要かを組合員と相談し、活動に参加していない方の視点も大切に「楽しくゆるやかな」、敷居を低くして誰もが参加しやすい活動への転換をしていくことに見直すことにしました。

2020年には新型コロナウイルス感染症の拡大により、今までの活動(集まっての活動)のスタイルでは活動ができなくなり、活動のあり方や方法を変えていくことが求められ、あらたな取り組みにチャレンジしてきました。

COOP22_AICHI_P24_P37_02号議案_CS6.indd 36　2022/04/13 19:05

○考え方

⑴組合員活動に参加する組合員を広げていくことを大切にし、多様なライフスタイルに合わせた参加の方法を充実・拡充し、運営参加を広めていきます。

⑵「生協」「商品」「くらし」に関わるまなびが充実するように、組合員の参加を支援していきます。

⑶広報を充実・拡充させることで組合員へのお知らせ（情報）を強化します。Web環境については事業・活動全体を通したしくみを再構築します。

○ルール、制度等

1.柱1 利用を通じて声をだすしくみ

組合員の加入動機のほとんどは商品やサービスの利用です。その商品やサービスをご利用いただいた際に感じたことなど様々な声をだしていただく機会を拡充し、声に応え、事業に反映させていくしくみです。より多くの組合員の参加が広がるようにまず一人一人の声を聴くしくみを整えながら参加できる機会を広げます。

2.柱2 身近な地域で関心に基づいて組合員活動に参加するしくみ

地域でより参加しやすいルールを作り、地域で活動するみなさんの声を政策に生かすために直接理事会に声が伝わるブロック協議会をブロックごとに設置しすすめます。

3.柱3 意思決定に参加するしくみ（総代制）

総代は組合員の代表です。多くの組合員が交替で役割を担えることが大切です。総代にかかわる会議については役割を果たせるように、情報や参加のしやすさなどより多くの方が会議に参加できる条件づくり（Webを使ったリモート会議など）を整えます。総代会議決に意思をもって賛否が出せるように学びや気づいたりできるような場を充実させます。より多くの組合員が適切に役割を担いあえるよう、総代経験者の方には情報提供や意見を出せる場の設置を検討します。

4.〈支援〉組合員参加を支援する制度・しくみ等

「組合員活動に関わる費用補助の考え方」

組合員が協同してくらしを守り、住みよいまちづくり活動をすすめるために、組合員活動に取りくむときの「組合員活動に関わる費用補助」は「活動に対する手当（報酬）の支給」ではなく、「組合員の家計からの持ち出し分を少なくする」という考え方で補助します。

COOP22_AICHI_P24_P37_02号議案_CS6.indd 37　2022/04/13 19:05

第5号議案　組合員の除名の件（特別議決事項）

1.提案趣旨

自己破産手続きを開始した組合員や、再三の催告にもかかわらず3年以上商品代金の支払いがない組合員について、定款第12条第1項第2号に基づき除名します。

2.提案補足

定款第12条では、以下のように規定しています。

第12条　この組合は、組合員が次の各号のいずれかに該当するときは、総代会の議決によって、除名することができる。
⑴1年間この組合の事業を利用しないとき。
⑵供給物資の代金又は利用料の支払を怠り、催告を受けてもその義務を履行しないとき。
⑶この組合の事業を妨げ、又は信用を失わせる行為をしたとき。
2　前項の場合において、この組合は、総代会の会日の5日前までに、除名しようとする組合員にその旨を通知し、かつ、総代会において弁明する機会を与えなければならない。
3　この組合は、除名の議決があったときは、除名された組合員に除名された理由を明らかにして、その旨を通知するものとする。

3.除名対象者

⑴宅配やモーニングコープなどの商品代金に未払いがあり、自己破産手続きを開始した組合員。
⑵再三催告しても3年以上支払いのない組合員。

※除名対象者は今後確定していきます。「除名対象となっている」旨の通知を5月に本人に行い、総代会約10日前までにお支払いのあった方は除名対象者からはずします。また、通常総代会の招集通知が総代のみなさんに到着後（5月下旬予定）、本部および豊橋生協会館にて除名対象者を総代のみなさんが確認できるようにする予定です。
※理事会では、除名することができるという定款の規定に基づいて、⑵の方を対象に除名の提案をしています。再三催告しても3年以上支払いのない組合員を、定款第12条の「催告を受けてもその義務を履行しないとき」としています。

＊なお、本議案および議決の本旨に反しない範囲の字句修正を理事会にご一任ください。

COOP22_AICHI_P38_05号議案_CS6.indd 38　2022/04/08 15:40

＜資料＞

資料1：持続可能な開発目標SDGsについて
資料2：コープあいちSDGs助成制度について
資料3：平和活動・国際協力活動の取り組みについて
資料4：環境の取り組みについて
資料5：ブロックの事業所や活動の紹介について
資料6：理事の年間の活動について（2021年度の実績）
資料7：監事会の年間の活動について（2021年度の実績）
資料8：2030年ビジョンと第4次中期方針

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 39 2022/04/13 19:06

資料1 持続可能な開発目標SDGsについて

1.SDGsについて

持続可能な開発目標（SDGs＝エスディジーズ）とは、地球と世界の問題を解決するために2030年までに解決・達成すべき目標を定めたもの。17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを重視しています。

2.コープあいちのこれまでの取り組み

⑴2018年6月の第9回通常総代会で「コープあいちSDGs行動宣言（特別アピール）」を採択しSDGs推進を本格的にスタートしました。
⑵2019年4月20日、くらしの中で行えるSDGsを考えあうためにSDGs講演会を開催しました。講師、発表者、参加者が「私のSDGs宣言」を考えあって交流しました。
⑶環境デーなごや2019中央行事(9月14日)に出展し、コープあいちの商品を通じた環境の取り組みや事業紹介などSDGsに関わる取り組みを紹介しました。
⑷コープ宅配の「ご利用ガイド」に「エシカル消費」につながる商品紹介のページを設け、利用を通じて貢献が広がるように努めてきました。
⑸地域の自主的な組合員活動でもSDGsを取り上げて知らせる活動が始まりました。
⑹環境デーなごや2020中央行事はオンラインでの参加をしました。
⑺2020年10月28日、コロナ禍の中でのSDGsともったいないの社会をめざすセミナーを開催しました。

⑻2020年12月3日、もったいない懇談会を開催しました。
⑼2021年2月5～6日､SDGs AICHI EXPO 2020に参加しました。
⑽2021年6月の第12回通常総代会では、私たちがめざしてきたことをSDGsに沿ってさらにすすめることをめざす姿とした「2030年ビジョン」を可決しました。
⑾私のSDGs宣言を募集し、広報誌や総代の部屋で掲載して交流しました。
⑿「SDGsエシカルチャレンジ2021」に年間3回取り組みました。
⒀コープあいちがめざす姿の実現のため、組合員を中心としたグループなどに助成する新しい制度として「コープあいちSDGs助成制度」が始まりました。

3.エシカル消費の取り組み

身の回りの多くの商品が世界とつながり、くらしのあり方は世界と地球の姿に密接に影響しています。組合員のみなさんの要望によってエシカル消費が拡大しています。

消費行動やくらしのあり方を見直しながら、持続可能な食の循環を発展させます

■「つくる責任」と「つかう責任」の好循環を発展させ、「あいちを食べよう日本の食をたいせつに！大運動」やエシカル消費などを推進し、生産と消費の笑顔がつながる事業・活動をすすめます。
■誰もが住み慣れた地域で生涯健康にくらし続けられるよう「おいしく・楽しく・食べよう!!」をテーマに食と健康の取り組みを推進します。

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 40 2022/04/13 19:06

資料2

コープあいちSDGs助成制度について

コープあいちSDGs助成制度がスタートしました

制度の目的

コープあいちがめざす姿の実現のため、組合員を中心としたグループなどに助成する新しい制度です。この助成制度は、コープあいち組合員の利用の中から積み立てられた剰余金をもとに新たに創設されました。組合員との絆を大切にし、地域とのつながり、行政や取引先との連携を力にしながら、誰も取り残さないというSDGsのめざす課題の実現のために活動しているグループを支援します。

概要

愛知県内を拠点とし組合員を中心とした自主自発のグループなどを申請対象とします。構成員が10名以上、そのうち半数以上がコープあいち組合員であり、申請時点で1名以上の未組合員を含んでいることを助成条件としています。助成対象活動のテーマは2030年ビジョンの“めざす姿”の6つの柱より12のテーマを定めています。

助成結果

以下の6件の応募がありました。

（予定）

活動地域	ブロック	団体名	SDGs活動テーマ	申請する活動内容	助成金額
犬山市	尾張北	犬山西口おもてなし隊	多様共生	地域環境整備	6,180
新城市	東三河	やなまるっ人	地域防災	八名地域全体防災にむけて	100,000
岡崎市	西三河	マザーズハウスめりーさんのお家	居場所	地域子育て支援、子育て活動団体支援	33,000
瑞穂区	尾張南	手話グループウイズ	居場所	聴覚障がい者と聴者の相互理解と情報共有	36,600
西区	名古屋北	NPOかけはし	FB、FD、子ども食堂、ユニセフなど	地域のさまざまな子どもたちを対象とした交流地点づくり	100,000
名東区	尾張東	子育て支援グループわくわく	居場所	子どもたちの健全育成及び地域でのネットワーク形成に寄与する	99,954
合計金額					375,734

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 41 2022/04/13 19:06

資料3 平和活動・国際協力活動の取り組みについて

平和活動・国際協力活動の取り組み
1.くらしと平和の活動を支えるカンパ

消費者問題や世界平和への脅威など私たちのくらしには、さまざまな問題が起こっています。これらの問題から私たちのくらしを積極的に守る取り組みをすすめます。「くらしと平和を守る活動」に必要な費用は、生協の運営費用とは別に、組合員がカンパを出し合って支え広げています。

くらしと平和の活動を支えるカンパ

2021年カンパ額　89万9,650円　　カンパ活用額　97万9,500円

項目	内容	収入（募金額）	支出
①　前期繰越金	2020年度からの繰越金	779,794	
②　収入	くらしと平和活動を支えるカンパなど	899,650	
③　募金の活用内訳			
ア．3.1ビキニデーオンライン集会参加登録費補助（2名分）			2,000
イ．原爆犠牲者を偲ぶつどい（被爆者のみなさんへお見舞金）			150,000
ウ．愛知県消費者団体連絡会　2020年度分担金			144,000
エ．愛知県消費者団体連絡会　2021年度分担金			144,000
オ．第51回愛知県消費者大会分担金			265,500
カ．第52回愛知県消費者大会分担金			274,000
④　支出計			979,500
⑤　次期繰越金	2022年度への繰越金		699,944
総額		1,679,444	1,679,444

2.ユニセフ募金

UNICEF/UN0376827/Esiebo

コープあいちは、世界中の子どもたちが十分なケアを受け、よりよい人生のスタートがきれるよう、ユニセフ募金に通年で取り組んでいます。1月には、世界の子どもたちへのお年玉として「ユニセフお年玉募金」を呼びかけました。店舗では専用の募金箱を設置し、コープ宅配ではOCR注文用紙やeフレンズから組合員のみなさんにご協力いただきました。

894万1,309円の募金が寄せられました。（2022年3月20日現在）

ユニセフ協会ホームページのハンド・イン・ハンドオンライン募金にあるコープあいちページへの募金も含みます。

3.ICAN　書き損じハガキ回収

誰もができる国際協力活動として「アイキャン（ICAN）」と連携して書き損じハガキなど募集をしています。この国際協力活動で得られた資金はフィリピンの子どもたちの勉強するノートや栄養改善のためのごはんになり、学校に通うための奨学金になります。21年度はフィリピンのパスタヤ地区のお母さん達や協同組合を運営する若いメンバーと、コロナ禍での活動の現状や組合員からの募金（提供されたハガキなどを換金）が、どのように活用されたかを知るために現地とオンライン交流会を開催しました。

4.きょうされん国会請願署名・募金

きょうされん（共同作業所など約1900か所が集まり、障がいのある人たちのゆたかな地域生活を支える制度づくりや地域づくりをめざす全国組織）が行う署名と募金活動の趣旨に賛同し取り組みました。署名6,039筆　募金　109万5,400円

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 42　2022/04/13 19:06

コープあいちでは、持続可能な社会の実現に向けて、身近な地域での広がりを目的に、平和活動・国際協力活動をすすめています。これまでの活動を振り返りながら、コープあいちが大切にしたい「平和活動・国際協力活動の考え方」をまとめました。

コープあいちの「平和活動・国際協力活動の考え方」

コープあいちは「平和活動・国際協力活動の考え方」を策定し、持続可能な社会の実現に向けて、商品を通じて誰もが参加でき、笑顔あるくらしを協同の力ですすめます。

平和活動

＜基本的な考え方＞

- 核兵器廃絶と世界平和の実現を目指し、次世代へ継承します
- 誰もが笑顔で食事ができる、ふだんのくらしを大切にします

＜大切にしたいこと＞

- 「平和とよりよい生活のために」のスローガンのもと、平和の尊さを学び・伝え、誰もが参加できる地域活動をすすめます
- 募金やカンパ・商品を利用することで支援につながることを知らせ、安心してくらせるまちづくり活動に取り組みます

国際協力活動

＜基本的な考え方＞

- 飢餓や貧困をなくし、子どもたちへの支援を推進します
- 国際間で寛容と協同の精神を広げ、希望のもてる社会づくりに貢献します

＜大切にしたいこと＞

- 誰一人取り残さない世界をめざして、お互いを認めあい助け合いの精神で、立場の弱い人たちを支援します
- 募金やカンパ・社会的貢献につながるエシカル消費の大切さを伝え、より多くの人々にひろげます

詳しくは➡　コープのエシカル　思いをつなぐ コープの商品　食育活動

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 43　2022/04/13 19:06

資料3 平和活動・国際協力活動の取り組みについて

愛知県ユニセフ協会設立に向けての経過報告

ユニセフは、すべての子どもの命と権利を守るため、最も支援の届きにくい子どもたちを最優先に、世界190の国と地域で活動しています。コープあいちでは、第12回通常総代会において、「ユニセフ活動を推進し、地域事務所（県支部）づくりに向けての準備会の立ち上げの相談をすすめます。」このことを確認いたしました。現在の状況を報告いたしますので、ご確認ください。

（1）愛知県における協会地域組織（愛知県ユニセフ協会）設立の目的と活動について

① 設立の目的

a．県内におけるユニセフ活動のネットワーク力を作り、ユニセフ活動の大きなうねりを創ること。

b．日本ユニセフ協会と密接な連携をしながら、愛知県においてユニセフ活動をより積極的に推進すること。

c．ユニセフ募金をさらに積極的に取り組み、より多くの募金を集めること。

d．ユニセフの趣旨に基づき、世界の子どもの権利を守る取り組みを県内に広めること。

e．啓発活動（世界の子どもたちの現状を知ること、ユニセフ活動の必要性を知ることなど）を特に学校教育の場も含めて全県で広めること。

f．ユニセフを幅広く広めるための登録ボランティアを増やすこと。

② 活動概要

【啓発活動】
学校（小・中・高・大学）や、協同組合、ボーイスカウト・ガールスカウト、企業、団体に出向いて学習会を実施する。

【広報活動】
ユニセフ募金・活動を呼び掛けるために、商業施設や各種イベントに出展する。

【募金活動】
愛知県ユニセフ県協会でも募金活動を計画し、会員と協力して街頭募金、商業施設などで実施する。

【学習・交流会】
愛知県ユニセフ県協会の会員（団体・個人）とともにユニセフ募金・活動を推進するための学習会や交流会を開催する。

【賛助会員集め】
愛知県ユニセフ協会の活動基盤となる（公財）ユニセフ賛助会員（団体・個人）を募り、ユニセフ県協会を大きくする。

【登録ボランティア】
上記の活動を行うためのボランティアを募集する。

③ 現在の状況（2022年3月20日現在）

これまでに、15団体から設立に向けて賛同を頂き、愛知県知事及び名古屋市長を表敬訪問しました。今後も個人賛助会員と団体賛助会員の広がりをすすめ、年内に準備委員会、発起人会、そして設立総会（大会）開催をめざします。

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 44 2022/04/13 19:06

ロシアのウクライナ軍事侵攻について

コープあいちはロシアのウクライナ軍事侵攻に抗議し、即時中止と平和的解決を求めます。
理事会から3月4日に声明文を出すとともに、ウクライナへの支援をしてまいります。

（1）2021年のユニセフ募金のうち、一般募金から300万円をユニセフ「ウクライナ緊急募金」に送金しました。
（2）さらに組合員のみなさんに呼びかけをして、ウクライナ難民支援を強化します。
①宅配でOCR募金に取り組みます。
②店舗に募金箱を設置して取り組みます。
③職場での掲示など、職員にも呼びかけます。

※コープあいち声明文

ロシアのウクライナ軍事侵攻に抗議し、即時中止と平和的解決を求めます

2022年2月24日、ロシアはウクライナへの軍事侵攻を開始し、尊い人命が奪われています。この侵攻は、武力行使を禁止する国連憲章に対する重大な違反であり、軍事力の行使による真の平和などありえないことを強く訴えます。

生活協同組合コープあいちは、設立以来大切にしてきたスローガンに「平和とよりよい生活のために」を掲げています。愛知県にもウクライナやロシアと様々なつながりを持った組合員、県民がたくさんおり、非常につらい出来事で無関心でいることはできません。いかなる理由があっても、戦争による国際紛争の解決、自国主張を相手に押し付けようとする武力行使に断固反対します。

また今回の一連の事態の中で、ロシアのプーチン大統領が核兵器使用を示唆したとされることは、世界で唯一の戦争被爆国である日本国民として断じて容認することができません。こうしている今も、私たちと同じようにくらすウクライナの人々の生活が脅かされ、命の危険にさらされていることに強い憤りを表明します。

生活協同組合コープあいちは、このロシア軍によるウクライナ侵攻についてロシア政府に抗議し、武力行為の即時停止を求めます。また、国際社会が対話と外交を通じた平和的な解決への最大限の努力をおこなうことを求めます。

平和とよりよい生活のために

2022年3月4日
生活協同組合コープあいち　理事会

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 45　2022/04/13 19:06

資料4 環境の取り組みについて

コープ商品の容器包装について

COOP商品の容器包装は、環境対応の取り組みとしてリデュース（使用量削減）、リユース（繰り返し使用）、リサイクル（再資源化・再生）、バイオマス（植物由来素材利用）の取り組みで計画的に改善を進めています。

「CO・OP 麦茶（国産六条大麦使用）600ml」の容器を再生プラスチック100%使用したペットボトルに切り替え。
再生ペットボトルへの切り替えにより年間665トンの石油由来プラスチックを削減。

「飲む緑黄色野菜1日分200ml」および「飲む緑黄色野菜1日分200ml×12パック」のストローを紙ストローに変更してプラスチックを削減。1ケース12本でレジ袋約1枚分の削減。

「緑豆もやし」はプラスチック包材の代わりに紙袋を使用。
「産直若鶏モモ肉、産直豚小間切れ」などはノントレーで商品をお届け。引き続きプラスチックの使用を削減し、環境負荷を減らしていきます。

環境保全につながる活動などのマークが増える中、「コープサスティナブル」として共通のマークをパッケージに表示しています。

3つのテーマのコープサステナブルマーク

海の資源を守る

co-op サステナブル 海の資源を守る

MSC認証
水産資源を枯渇させないよう、漁獲量や漁法・漁の時期、生態系などに配慮した漁業でとられた水産製品です。
魚食の未来のために msc.org/jp

マリン・エコラベル・ジャパン
水産資源の継続的な利用を図るため、資源管理と生態系の保護を積極的に行っている漁業を応援する認証制度です。

森の資源を守る

co-op サステナブル 森の資源を守る

FSC®認証
責任ある森林管理をしている林業者を支援し、世界の森林保全貢献につながる木材製品です。
責任ある森林管理のマーク

レインフォレスト・アライアンス認証
人と自然によってよりよい未来を創ることをめざしています。
www.rainforest-alliance.org/lang/ja

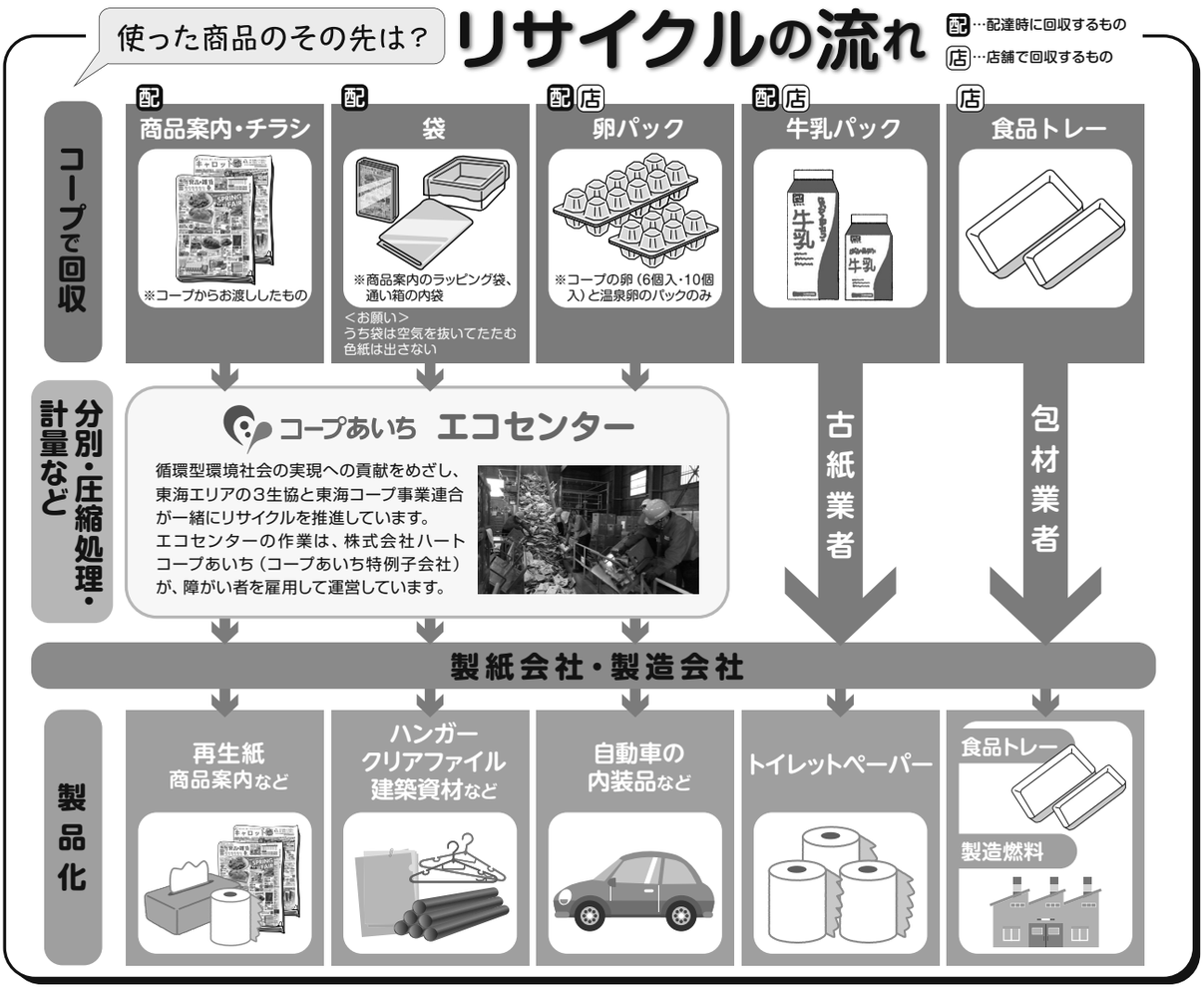
オーガニック

co-op サステナブル Organic

有機JAS
一定の基準で農薬や化学肥料を使用しないで作られた農産物とその製品です。

エコマーク
生産から廃棄を通して環境負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品です。
http://goods.jccu.coop/ecomark.pdf

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 46 2022/04/13 19:06



コープあいちで回収した資源は毎月ウィズコープ（裏表紙下）で報告しています。

エコセンターはハートコープあいちが運営しています。

ハートコープあいちは、障がいのある10人のみなさんを雇用するコープあいち100%出資の子会社です。主な事業は、東海3生協の事業所で発生する商品案内などの環境資源を集積・圧縮することです。東海コープ小牧元町事業所（呼称「エコセンター」）の業務を受託しています。

2016年秋から事業を開始し、2017年春にコープあいちの特例子会社として認定され、行政や学校関係者、地域の諸団体のみなさんのご協力により５年目を迎えることが出来ました。

＜主な事業内容＞

年間で、商品案内、OCR注文用紙など約10,111トンのリサイクルを行いました。

また、卵パックについても約104トン、内袋は約126トンのリサイクルを行いました。総代のみなさんに毎月お届けする、コープあいち通信などの広報誌セット作業も担っています。小牧要冷セットセンター内で45トンの廃棄シッパーを減容する作業も行っています。

障がい者雇用は2017年が57.5人（雇用率3.40%）、2018年度が61.5人で（雇用率3.58 %）、2019年度は62.5人（雇用率3.82%）、2020年度は75.5人（雇用率4.58%）、2021年度は75.0人で雇用率4.44%（ハートコープあいち含）となっています。

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 47　2022/04/13 19:06

資料5 ブロックの事業所や活動の紹介について

東三河ブロック

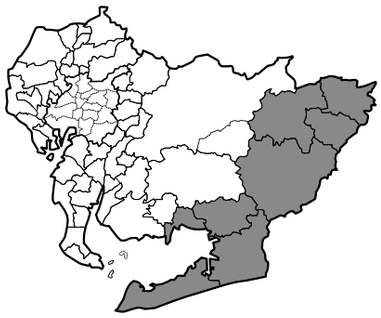
<2022年度方針　東三河ブロックの重点課題ポイント>

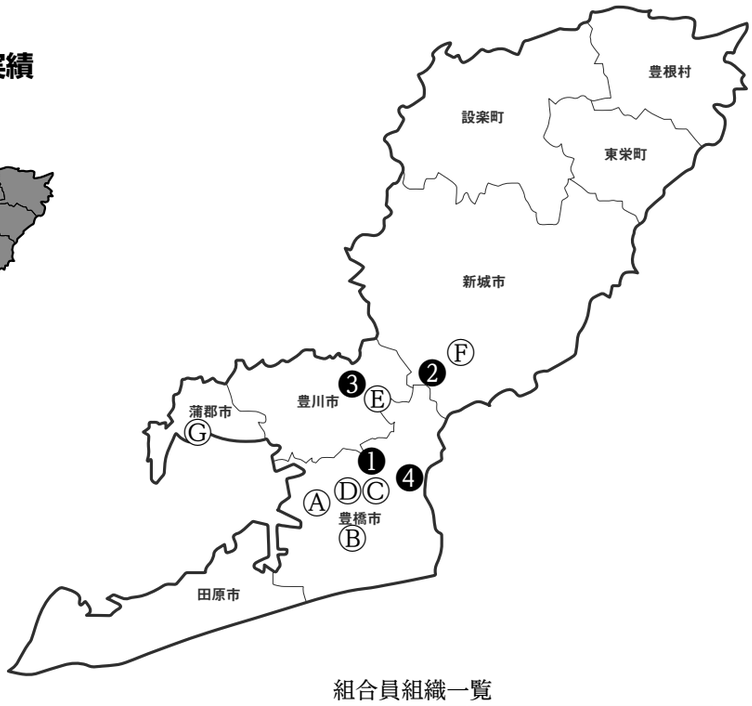
東三河ブロックでは、小型店の2店舗の来店者増、高齢化率が高い地域ですので、高齢期を支える事業・活動を広げていくこと、新しい組合員参加の広げることを重点にすすめます。

①コープ岩田リニューアル、ケアコープ豊橋・福祉サービス 豊橋北の移転とサービスの改廃、あいちあんきネットの拡大を軸に、事業間や地域団体との連携活動をすすめ、組合員・地域のみなさんへのコープあいちをアピールし仲間づくり、併用利用に目標をもって取り組みます。合わせて、工夫し職員教育など相乗効果を狙います。

②若い世代や、これまで参加したことがない組合員に組合員活動（柱1 ～ 3）への参加を広げます。そのために様々な活動や取り組みの中で意識的な発信、東三河ブロックでも企画や学習の機会も実施します。コロナ禍で、出来なくなった活動や企画の実施に向けて、形や内容を変えるなど工夫し前進できるように検討します。

2022年3月20日時点の実績





事業所と所在地

コープ宅配センター	所在地
❶ 豊橋センター	豊橋市下地町
❷ 新城センター	新城市黒田
コープのお店	**所在地**
❸ コープ諏訪	豊川市萩山町
❹ コープ岩田	豊橋市西岩田
福祉事業所	**所在地**
Ⓐ 福祉サービス豊橋西/小規模多機能ホーム豊橋西/デイサービス豊橋西	豊橋市牟呂町
Ⓑ 福祉サービス豊橋南/福祉用具豊橋	豊橋市小松町
Ⓒ ケアコープ豊橋/福祉サービス豊橋北/地域包括ケアセンターケアコープ豊橋	豊橋市平川南町
Ⓓ デイサービス新川/地域包括支援センターコープ豊橋中央/福祉サービス豊橋中央	豊橋市前田町
Ⓔ 福祉サービス豊川	豊川市西塚町
Ⓕ 福祉サービス新城/デイサービス新城	新城市西新町
Ⓖ 福祉サービス蒲郡/デイサービス蒲郡	蒲郡市水竹町

行政区別の加入率

選挙区ブロック	行政区	組合員数(人)(22.03.20)	世帯数	加入率(%)
東三河	豊川市	20,135	75,090	26.8
	蒲郡市	6,567	31,725	20.6
	新城市	6,881	16,597	41.4
	北設楽郡　設楽町	983	1,829	53.7
	北設楽郡　東栄町	616	1,211	50.8
	北設楽郡　豊根村	254	441	57.5
	豊橋市	33,011	153,625	21.4
	田原市	4,777	22,029	21.6
	東三河ブロック計	73,224	302,547	24.2

組合員組織一覧

行政区	地域委員会名
豊橋市	豊橋地域委員会
豊川市	豊川地域委員会
新城市	新城地域委員会
田原市	田原地域委員会
設楽町	設楽地域委員会
東栄町・豊根村	東栄・豊根地域委員会

行政区	グループ名	テーマ
豊橋市	グループすくすく	障害者福祉
豊橋市	平和活動委員会	平和
豊橋市	あおいくま	ユニセフ・国際交流
豊橋市	豊橋の福祉を考える会	地域福祉
豊川市	とよかわ商品ラボ.	商品
豊川市	手のひら	地域福祉
豊川市・蒲郡市	環境と平和の委員会	環境、平和
蒲郡・豊川・田原・幸田	キラキラ丼プラス	復興支援・地域防災
豊橋・田原・新城・岡崎市	「一粒の麦」を語る会	くらしまちづくり
新城市	たけのこ会	福祉
豊川・豊橋	さくら	くらし子育て
豊橋市	令和mama's	くらし子育て

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 48　2022/04/13 19:06

西三河ブロック

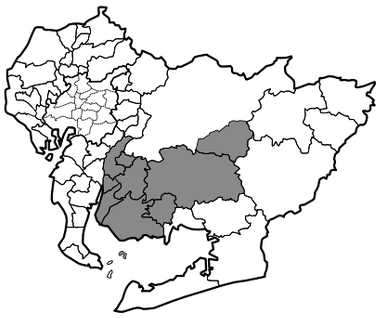
<2022年度方針　西三河ブロックの重点課題ポイント>

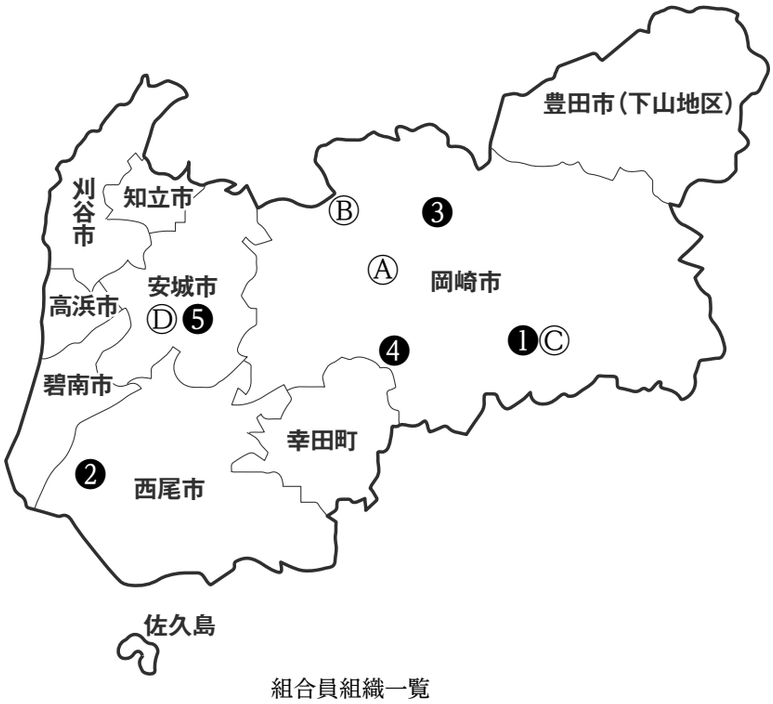
西三河ブロックには、2つの宅配センター、3つの店舗、4つの福祉事業所があります。それぞれの事業の特徴を共有化し連携することで、職員は組合員のくらしへのお役立ちと地域への情報発信力を高め仲間づくり、利用者づくりにつなげることを重点とします。

①行政区ごとの加入率目標をもって推進します。重点行政は、宅配、店舗、福祉事業所のある岡崎市、西尾市、安城市を重点にします。

②昨年、子育てに関する支援協定を締結した西尾市では、ハピハピボックスの申し込みも増えています。若年層の多い刈谷市、知立市、高浜市は子育て支援協定の締結を目指します。行政と組合員と一緒に子育てを支えていく事で仲間づくりにつなげます。

2022年3月20日時点の実績





事業所と所在地

コープ宅配センター	所在地
❶ 岡崎センター	岡崎市岡町
❷ 西尾センター	西尾市中畑町
コープのお店	**所在地**
❸ コープ岡崎北	岡崎市錦町
❹ コープ岡崎	岡崎市上地
❺ コープ安城よこやま	安城市横山町
福祉事業所	**所在地**
Ⓐ 福祉サービス岡崎	岡崎市竜美南
Ⓑ 福祉サービスひな/デイサービスひな/ひな地域包括支援センター	岡崎市日名南町
Ⓒ 福祉用具レンタルセンター /福祉用具岡崎	岡崎市岡町(岡崎センター内)
Ⓓ 福祉サービス安城/デイサービスよこやま	安城市横山町

行政区別の加入率

選挙区ブロック	行政区	組合員数(人)(22.03.20)	世帯数	加入率(%)
西三河	岡崎市	35,218	159,640	22.0
	額田郡　幸田町	3,832	16,000	23.9
	碧南市	3,161	29,243	10.8
	刈谷市	5,401	66,801	8.0
	安城市	15,537	76,219	20.3
	知立市	2,898	31,275	9.2
	高浜市	1,809	20,304	8.9
	西尾市	12,402	64,718	19.1
	豊田市(下山地区のみ)	197	1,665	11.8
	西三河ブロック計	80,455	465,865	17.2

組合員組織一覧

行政区	地域委員会名
岡崎市	岡崎地域委員会
幸田町	幸田地域委員会
西尾市	西尾地域委員会
安城市	安城地域委員会
知立市	知立地域委員会
刈谷市	刈谷地域委員会
碧南市	碧南地域委員会

行政区	グループ名	テーマ
岡崎市	福祉委員会	福祉
岡崎市	商品倶楽部	商品
豊田市(下山地区)	しもやまくらぶ	くらし
安城・西尾・刈谷	でらいい商品つくろう会	商品
安城・岡崎・西尾・碧南	す米るプロジェクト	発酵食品
名古屋南、名古屋北(守山)、尾張南(みよし)、東三河(豊橋)、西三河(岡崎・幸田・西尾)	くらしの視点から生協をみてみよう	くらしと情報
岡崎市	おたがいさまーズ	被災地支援・防災
安城市	レディGO！	くらし

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 49　2022/04/13 19:06

資料5 ブロックの事業所や活動の紹介について

尾張東ブロック

<2022年度方針　尾張東ブロックの重点課題ポイント>

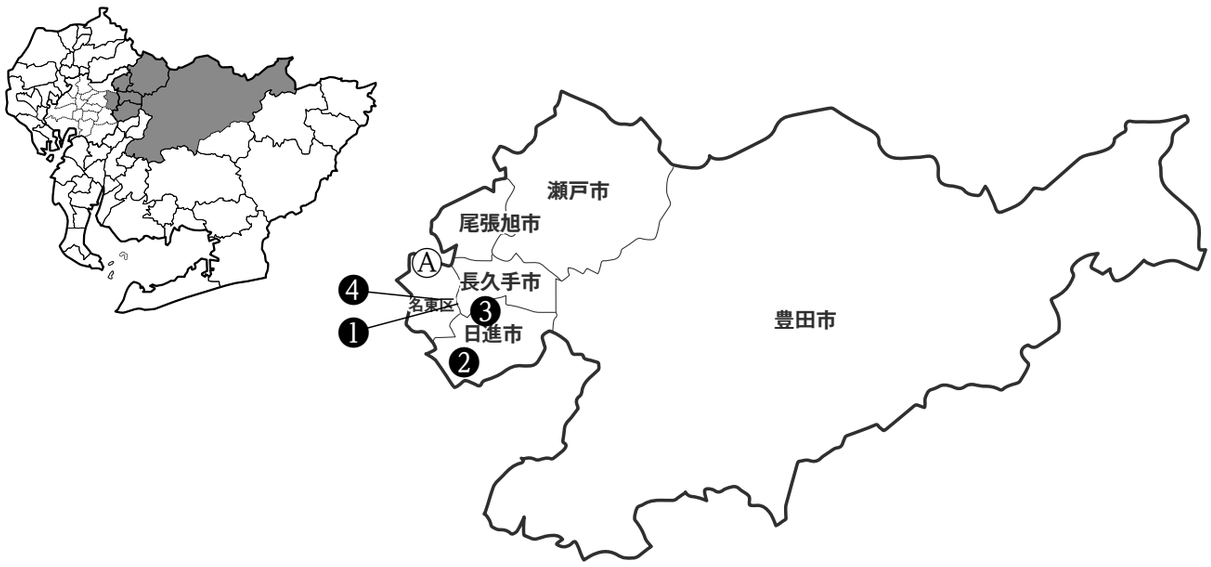
尾張東ブロックは、宅配、店舗、福祉、くらしのサポート事業（モーニングコープ・夕食宅配）と全ての事業がそろうエリアのため、組合員、地域の方へお役立ちが、多岐にわたるようブロック内事業所、職員で連携を強化しお役立ちにつなげます。

①名古屋市を中心とした仲間づくりを重点とし、特に名東区は転居による転入が多い地域です。店舗周辺での活動も強化していきます。

②中型店舗であるコープ上社店、コープ日進店は、コープあいち店舗事業モデルとして、損益改善含め活気ある店舗づくりに向けブロック内連携でサポートしていきます。

③コロナ禍で組合員の参加の場が減少している中、地域でグループを組織し活動されている皆さま、生産者・メーカーとも相談、連携し、またオンラインなどの場も活用しながら多様な参加が広げられるようにしていきます。

2022年3月20日時点の実績



事業所と所在地

コープ宅配センター	所在地
❶ 名東センター	長久手市蟹原
コープのお店	**所在地**
❷ コープ日進店	日進市栄
❸ コープ岩崎	日進市岩崎町
❹ コープ上社店	名古屋市名東区
福祉事業所	**所在地**
Ⓐ 福祉サービス名東/福祉用具名古屋	名古屋市名東区

行政区別の加入率

選挙区ブロック	行政区	組合員数(人)(22.03.20)	世帯数	加入率(%)
尾張東	名古屋市　名東区	23,631	77,133	30.6
	日進市	14,226	38,088	37.3
	長久手市	5,857	27,804	21.0
	瀬戸市	11,203	53,580	20.9
	尾張旭市	7,052	34,500	20.4
	豊田市（下山地区除く）	6,663	178,558	3.7
	尾張東ブロック計	68,632	409,663	16.7

組合員組織一覧

行政区	地域委員会名
名東区	名東地域委員会
瀬戸市	瀬戸地域委員会

行政区	グループ名	テーマ
名東区	一社ネット	食の安全
名東区	メンズクラブ上社	男の料理教室
名東区	名東地域福祉を考える会	福祉
名東区	こどもといのちを考える会	食の安全・教育・防災・憲法
名東区	くらしのテーマグループ名東福祉	福祉・健康
瀬戸市	SETOCORO	子育て・食育
瀬戸市	MATTARI	くらし・子育て
瀬戸市	カメリア	食と生活
瀬戸市、尾張旭市、守山区	ラブアンドピース	平和
瀬戸市、尾張旭市	ひまわりっこ	食生活・子育て
名東区、長久手市	尾張東環境グループ	環境
名東区、日進市、瀬戸市	東部産消の会　緑の風	食の安心安全の追求
名東区、長久手市	名東・長久手	食と健康
日進市	スマイルママ	衣・食・住・子育て
日進市	Teamパンだ	くらし・子育て
尾張旭市	カモミール	くらし

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 50　2022/04/13 19:06

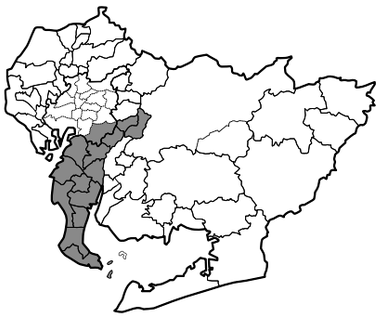
尾張南ブロック

<2022年度方針　尾張南ブロックの重点課題ポイント>

①尾張南ブロックでの一番の課題は「組合員活動が他ブロックに比べると活発でないこと」です。
組合員活動を強化するために、新規グループの立ち上げやグループへ参加する組合員を増やします。組合員の参加を広げ利用につなげるようにします。
オンラインイベント企画なども検討し、少しでも生協に興味を持っていただけるように工夫した取り組みをします。

②支援協定を締結している行政とは、今までのつながりを大切にし、更に活動を広めていけるように継続して情報交流をし連携を強めていきます。また、新たな行政区で子育て支援協定などを締結できるように積極的に行政訪問を行い、コープあいちの様々な事業を紹介し締結をめざします。

2022年3月20日時点の実績



事業所と所在地

コープ宅配センター	所在地
❶ 三好センター	みよし市根浦町
❷ 大府センター	大府市森岡町
コープのお店	**所在地**
❸ コープ大高インター店	名古屋市緑区
❹ コープとよあけ店	豊明市前後町

行政区別の加入率

選挙区ブロック	行政区	組合員数(人)(22.03.20)	世帯数	加入率(%)
尾張南	半田市	2,860	49,895	5.7
	常滑市	1,266	24,360	5.1
	東海市	8,215	49,135	16.7
	大府市	7,305	38,574	18.9
	知多市	3,875	34,852	11.1
	知多郡　阿久比町	1,226	10,407	11.7
	知多郡　東浦町	2,315	19,713	11.7
	知多郡　南知多町	748	6,686	11.1
	知多郡　美浜町	447	9,584	4.6
	知多郡　武豊町	847	17,910	4.7
	名古屋市　緑区	25,026	103,610	24.1
	豊明市	14,733	29,336	50.2
	みよし市	3,058	24,567	12.4
	愛知郡　東郷町	4,638	17,154	27.0
	尾張南ブロック計	76,559	435,783	17.5

組合員組織一覧

行政区	地域委員会名
南知多町	南知多地域委員会

行政区	グループ名	テーマ
大府市	声ログ支援パソコングループ	声ログ支援
大府市	ナチュラルコーン	商品、くらし
東海市	絆カフェ	復興支援・防災
豊明市	コープあいちとよあけ「平和の会」	平和
豊明市	豊明たんぽぽ	障がい者支援
東郷町	わんぱく	商品・食品
緑区	みどりの会	くらし
緑区	なかよし	生協商品について
知多市	つながり愛隊	復興支援、防災

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 51　2022/04/13 19:06

資料5 ブロックの事業所や活動の紹介について

尾張北ブロック

<2022年度方針　尾張北ブロックの重点課題ポイント>

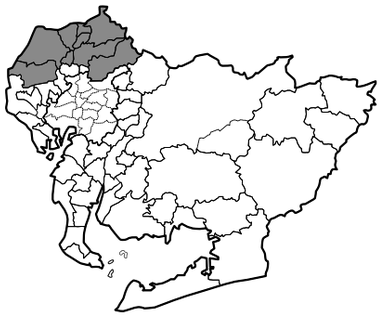
2022年度は、ブロックでの仲間づくり活動と利用継続につながる取り組みを各事業所との連携を深めながら旺盛に取り組みます。また、組織運営への組合員参加がブロックでさらに広がる活動を推進します。

①仲間づくりに関しては、行政、諸団体との関係性をさらに深め、子育て支援協定の締結をめざしていく事と、締結後に具体化できることの相談や情報交流を行う中で、子育て層の仲間づくり活動につなげます。

②利用継続に関しては、商品を軸にしながら、地元の産物を中心に利用がひろがる取り組みをめざしていく事と、各事業の利用を広げる活動として、ブロック内の事業間連携を強化し、利用定着につなげます。

③組織運営への組合員参加を広げるサポート活動を推進し、組織運営への多様で主体的な参加を広げられるようにしていきます。

2022年3月20日時点の実績



事業所と所在地

コープ宅配センター	所在地
❶ 小牧センター	小牧市本庄
❷ 岩倉西センター	一宮市伝法寺
コープのお店	**所在地**
❸ コープ高蔵寺ニュータウン	春日井市岩成台
❹ コープ上八田	春日井市八田町
❺ コープいぬやま	犬山市松本町
❻ コープいわくら	岩倉市大地新町
福祉事業所	**所在地**
Ⓐ 福祉サービス小牧	小牧市本庄(小牧センター内)
Ⓑ 福祉サービス春日井	春日井市八田町(コープ上八田2階)

組合員組織一覧

行政区	地域委員会名
春日井市	春日井地域委員会
小牧市	小牧地域委員会
扶桑町・大口町	扶桑・大口地域委員会

行政区別の加入率

選挙区ブロック	行政区	組合員数(人)(22.03.20)	世帯数	加入率(%)
尾張北	犬山市	9,193	29,597	31.0
	小牧市	10,992	62,938	17.4
	丹羽郡　大口町	1,665	9,333	17.8
	丹羽郡　扶桑町	2,948	13,926	21.1
	江南市	5,453	39,407	13.8
	岩倉市	3,964	21,758	18.2
	一宮市	8,056	153,417	5.2
	稲沢市	3,562	52,899	6.7
	春日井市	31,093	131,823	23.5
	尾張北ブロック計	76,926	515,098	14.9

組合員組織一覧

行政区	グループ名	テーマ
春日井市	春日井環境グループECOMA	環境
春日井市	上八田ネット	食と商品の安全
春日井市	高蔵寺ネット	高蔵寺NTを中心に組合員と交流を深める
春日井市	虹色マカロン	食と商品
春日井市	春日井地域福祉を考える会	年を取ってもくらしやすい街をめざす
春日井市	プチヴェール	食育
春日井市	SAKURA	食育・子育て
犬山市	犬山環境グループおひさま	環境
犬山市	メンズクラブ犬山	料理教室
犬山市	なんじゃもんじゃ会	地域福祉と親睦
犬山市	町づくりなごみの会	ランチ作り
犬山市	コスモスの会	地域福祉・認知症予防
犬山市	犬山平和ヒトツバタゴの会	平和・ユニセフ・高齢者の食と健康
小牧市	平和やまぼうしの会	平和・ユニセフ
小牧市	小牧環境グループエコひいき	環境
小牧市	上伊那の会	お米作りの体験と学習
稲沢市	ぽかぽか	子育て・くらし
岩倉市	桔梗の会	商品・環境
岩倉市	だいちクラブ	くらし
大口町	花水木	食
大口町	M&R	食育
犬山市・小牧市・扶桑町	尾張北自然観察グループ森の風	環境
犬山市	ラブ・ドッグ	環境
大口町	ふわっと	食
岩倉市	いわくら料理サークル	食
犬山市・扶桑町	おだんご会	子育て
稲沢市	カンガールズ	子育て
犬山市	にこっと	くらし

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 52　2022/04/13 19:06

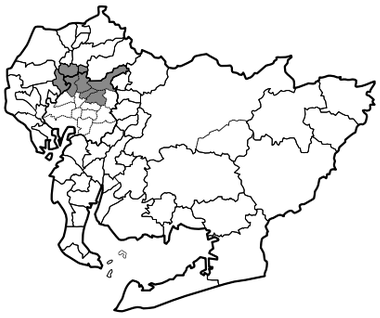
名古屋北ブロック

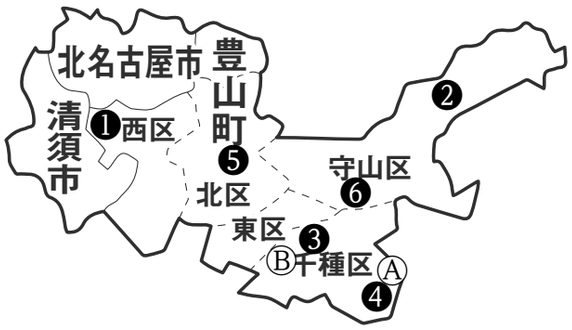
<2022年度方針　名古屋北ブロックの重点課題ポイント>

①名古屋市の仲間づくり活動を最重点で取り組みます。ポイントは、「商品・サービスを中心とした事業間連携」を推進し、宅配とお店の併用率を上げ、組合員のみなさんと一緒に仲間づくり活動、利用者づくり活動、商品普及・利用継続活動に取り組むことが重点課題です。

②名古屋北ブロックには、コープのお店(小型店)が4店あります。2021年にリニューアルした「コープ小幡の小型店モデル化」をブロック連携(組合員活動、地域の拠点、事業間協力関係づくりなど)を強化し取り組みます。

2022年3月20日時点の実績





事業所と所在地

コープ宅配センター	所在地
❶ 西センター	名古屋市西区
❷ 守山センター	名古屋市守山区
コープのお店	所在地
❸ コープなかた	名古屋市千種区
❹ コープ本山	名古屋市千種区
❺ コープくろかわ	名古屋市北区
❻ コープ小幡	名古屋市守山区
福祉事業所	所在地
Ⓐ 福祉サービス本山	名古屋市千種区
Ⓑ デイサービス千種	名古屋市千種区

組合員組織一覧

行政区	地域委員会名
千種区	千種地域委員会
西区	西区地域委員会
清須市	清須地域委員会
北名古屋市・豊山町	北名古屋・豊山町地域委員会(準備会)

行政区別の加入率

選挙区ブロック	行政区	組合員数(人)(22.03.20)	世帯数	加入率(%)
名古屋北	名古屋市　千種区	16,867	88,709	19.0
	名古屋市　東区	5,305	46,298	11.4
	名古屋市　守山区	16,480	75,742	21.7
	名古屋市　北区	12,417	81,123	15.3
	名古屋市　西区	9,391	74,708	12.5
	清須市	4,077	29,788	13.6
	北名古屋市	4,930	36,388	13.5
	西春日井郡　豊山町	883	6,852	12.8
	名古屋北ブロック計	70,350	439,608	16.0

組合員組織一覧

行政区	グループ名	テーマ
千種区	鳩・ハート	平和
千種区	ザ・文化	文化
千種区	ねっこぼっこの会	子育て
千種区	アザミの会	文化・福祉
千種区	高校進学を考える会	教育
千種区	コープあいちユニセフの会	ユニセフ支援
千種区	ウィズコープ録音グループ	福祉
千種区	地球まるごとの幸せの会	平和
千種区	被爆者の声を聞き取る会	被爆体験の聞き取り・継承
千種区	東北支援グループ本山	東北支援
千種区	ぽとふ	食育・子育て
千種区	バースデー	食育・子育て
北区	ラブ&バリアフリー(北区福祉グループ)	福祉・健康・くらし
北区	くろかわ子ども食堂	子ども食堂
北区	Pole☆Pole	食・育児
西区	くらしを考える会	福祉
西区	おひさまくらぶ	子育て・食育・医療
守山区	志段味えんママ	食育・商品・子育て
守山区	シュガードーナツ	子育て・食育
守山区	オーバー・ザ・レインボー	食育・子育て
清須市	NIJI	食
北名古屋市	グリーンBOX	商品と生産者・産地を結ぶ
北名古屋市	H平和・ユニセフ	平和・ユニセフ
豊山町	豊山にじいろ食堂	食・地域活性
千種区	FP-くらしのちえ袋	くらし

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 53　2022/04/13 19:06

資料5 ブロックの事業所や活動の紹介について

名古屋南ブロック

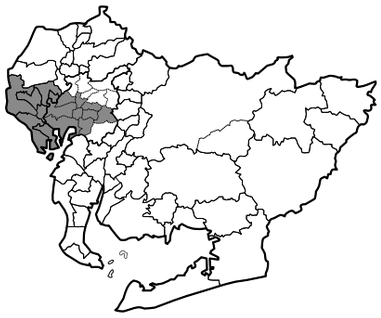
<2022年度方針　名古屋南ブロックの重点課題ポイント>

名古屋南ブロックでは、加入組織率が低い事、行政との関わりが弱い事が重点課題です。

①22年度、全体での仲間づくり重点エリアは名古屋市と位置付けられています。ブロック内の各事業所で密に連携しながら仲間づくりを旺盛に進め、ブロックが担当する名古屋市9の行政区とブロック全体の加入組織率向上をめざします。また、事業・サービスへの利用定着、脱退数減にむけた取り組みを実践します。

②行政との関係について、名古屋南ブロック内では未だどの行政区とも子育て支援協定を締結できていません。また、見守り支援協定も締結していない行政区が多数あります。締結を第一歩に関係性を深めていけるように、コープあいちの取り組みや他ブロックと行政との協定状況、連携した取り組みの紹介など旺盛なPR 訪問活動を実践し、各行政区との締結をめざします。

2022年3月20日時点の実績



事業所と所在地

コープ宅配センター	所在地
❶ 中川センター	名古屋市中川区
❷ 港センター	名古屋市港区
❸ 海部センター	海部郡蟹江町
三好センター	みよし市根浦町
名東センター	長久手市蟹原
福祉事業所	所在地
Ⓐ 福祉サービス天白	名古屋市天白区
Ⓑ 福祉サービス昭和	名古屋市昭和区
Ⓒ デイサービス昭和	名古屋市昭和区

組合員組織一覧

行政区	地域委員会名
中川区・中村区	中川・中村地域委員会
港区・南区・熱田区・中区	港地域委員会
天白区・瑞穂区・昭和区	天白地域委員会
蟹江町・あま市・愛西市・津島市・弥富市・大治町・飛島村	蟹江地域委員会

行政区別の加入率

選挙区ブロック	行政区	組合員数(人)(22.03.20)	世帯数	加入率(%)
名古屋南	名古屋市　中区	3,638	63,631	5.7
	名古屋市　熱田区	3,775	33,650	11.2
	名古屋市　港区	6,328	64,140	9.8
	名古屋市　南区	7,429	63,510	11.6
	名古屋市　中村区	6,573	71,432	9.2
	名古屋市　中川区	11,167	102,151	10.9
	名古屋市　昭和区	7,569	58,025	13.0
	名古屋市　瑞穂区	6,419	51,582	12.4
	名古屋市　天白区	12,895	79,339	16.2
	津島市	2,424	24,930	9.7
	愛西市	2,286	22,419	10.1
	弥富市	1,908	17,518	10.8
	あま市	4,600	36,087	12.7
	海部郡　大治町	1,770	13,750	12.8
	海部郡　蟹江町	1,998	16,031	12.4
	海部郡　飛島村	177	1,485	11.9
	名古屋南ブロック計	80,956	719,680	11.2

行政区	グループ名	テーマ
中川区・中村区	食育ボランティア「結い」	食育
中川区	まちんと	ユニセフ・平和
中川区	すきっぷ	食育・子育て
中川区	Noda life	くらし
港区	赤ずきん	くらし
港区	シュランゲ	食育・子育て
港区・南区	ママ☆ラボ	食育
南区	南ネットワーク	くらし
天白区	みらいじゅく	終活
天白区	商品知り隊いワ！	商品を知る
天白区	ぱれっと	子育て
津島市	コープの会つしま	くらしと商品
弥富市	産消の会十四山	稲作体験
あま市	あまちゃん	くらし
あま市	苺いちえ	食
愛西市	くらしらく	くらしとお金

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 54　2022/04/13 19:06

資料6 理事の年間の活動について（2021年度の実績）

生協はすべての理事で構成する理事会を設置し、総代会の決定に基づき、生協の財産管理を含めて、業務執行に関わる重要な決定を理事会で行います。

理事会および理事の活動について報告します。

1.理事の年間の活動について

⑴理事会及びそれを補完する会議

理事会（毎月第2火曜日）、理事研修・理事懇談会（毎月第3火曜日）

理事協議会（第4火曜日）

⑵総代に関わる会議、ブロック連絡会

11月総代交流会、2、3月地域別総代会議、5月議案検討会、6月通常総代会

ブロック連絡会（年4回）

月度	企画（各自エントリーして参加する企画も含みます）
6月	日本生協連第71回通常総会、コープ共済連第13回通常総会、NPO法人あいちあんきネット第17回総会、くらしと協同の研究所第28回総会記念シンポジウム、愛知県生協連第75回通常総会、東海コープ第27回通常総会、コープぎふ第23回通常総代会、コープみえ第19回通常総代会、コープあいち第12回通常総代会
7月	「2021国際協同組合デー in愛知」記念行事（オンライン）、くらしと協同研究所「2021年総会記念シンポジウム」（オンライン）、ブロック連絡会
8月	ピースアクション（オンライン）
9月	被爆76周年原爆犠牲者を偲ぶつどい、恩納村コープサンゴの森連絡会（オンライン）
10月	令和3年度あいち食育いきいきシンポジウム、組合員活動意見交流会（オンライン）、ブロック連絡会
11月	NPOあいちあんきネット公開セミナー＆無料相談会「相続のおはなし」（オンライン）、2021年度組合員理事ブラッシュアップフォーラム（オンライン）、組合員活動方針検討会、総代交流会
12月	第22回生協組合員理事トップセミナー（オンライン）、2021年度消費者志向経営セミナー「消費者志向経営の推進に向けた事業者の取り組み」（オンライン）、アイキャンが支援するフィリピン現地とのオンライン交流会（オンライン）
1月	2022年全国方針検討集会（オンライン）、2021年度第2回組合員活動方針検討会、第1回優良事業者育成セミナー（オンライン）、ブロック連絡会
2月	第18回東海交流フォーラム（オンライン）、平和学習会「平和憲法を考えるつどい」（オンライン）、総代会議
3月	第5回くらしと協同全体研究会（オンライン）、日本生協連東海北陸地区総会議案検討会、東日本大震災企画七ヶ浜・RSYオンライン交流会
4月	ブロック連絡会、「2030年ビジョン第2期中期方針」検討にあたってのオンライン連続学習会第1回「ポストコロナの流通、消費と生協購買事業の展望」
5月	議案検討会

＊…上記の表の他に、理事会協議の促進のため、日本生協連、関西地連、東海コープ、コープ虹の会主催の会議や学習会、研修、他団体や他生協との交流（オンライン中心）を行いました。

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 55 2022/04/13 19:06

理事の年間の活動について（2021年度の実績）

2.理事活動に関する説明

⑴理事会……総代会の決定に基づいて、業務執行を決し、理事の職務執行を監督します。理事会規則に基づく「議決」と「報告」を処理し、法人の機関としての役割を果たします。

⑵理事協議会……日常の組合業務の実行計画および組織運営を調整・決定します。

⑶理事研修……理事としての役割を果たすために必要な学習や研修を行います。

＊地域区分理事は地域の組合員の活動に参加したり、行政訪問や行政懇談会などの対応を行ったりしています。全体区分組合員理事は、愛知県など行政の委員会やさまざまな対外活動に参加し、コープあいちの活動や考え方を紹介しています。

＊上記の他に、理事会協議の促進のため、日本生協連、関西地連、東海コープ、コープ虹の会主催の会議や学習会、研修、他団体や他生協との交流を行いました。

3.各行政の委員として参加し、消費者団体として組合員の声を届ける活動

東海農政局	むらづくり審査会、東海ブロック有機農業推進委員会
愛知県	愛知県卸売市場審議会、食の安全・安心推進協議会、いいともあいち運動推進協議会、食育推進会議、介護保険審査会、食と緑の基本計画・新城設楽地域推進会議、食と緑の基本計画・東三河地域推進会議、中山間地域振興対策会議、食育推進全国大会愛知県実行委員会、愛知県主要農作物奨励品種審査会議、農業振興協議会、農業総合試験場外部評価委員
名古屋市	食の安全・安心推進会議
津島市	食品安全委員会
安城市	安城市農業振興協議会
岡崎市	食の安全・安心推進に関する意見交換会
豊橋市	環境保全型農業推進協議会
豊川市	いきいき農産物認証委員会

4.社会へのアピール活動

日常生活でできるSDGs・エシカルチャレンジ2021に取り組む/豊明市と豊明市社会福祉協議会、コープあいちの三者が協力した「まごころサポート便」を継続し生活困窮者へ生活物資を届ける/家からでも1人でも参加できる平和の取り組み（「平和の川柳」、「平和のぬり絵＆ピースメッセージ」の募集・「くらしと平和の活動を支えるカンパ」の募集・「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」の呼びかけ）/平和を語る会を開催/2021年8月大雨災害支援募金の実施/春日井市と子育て支援に係る連携・協力に関する協定締結/コロナ禍で影響を受けている岡崎駒立ぶどう狩り組合のぶどうを店舗やセンターで販売/2021年秋　まもなく衆議院選挙　みんなで「投票」に行こう！の呼びかけ/山間地域をドローン配送する実証実験を名古屋鉄道株式会社、新城市、豊川市と協力し実施/子育て中のママ・パパの気持ちを少しでも軽くするために桃乃カナコさんによる親子ふれあいミニコンサートをライブ配信/ エシカルなものづくりリデザインプロジェクトへ参加/数千人のユダヤ系難民にビザを発給して命を助けた杉原千畝の創作講談の公演/アイキャン「フィリピンとのオンライン交流会」開催/西尾市と子育て支援に係る連携・協力に関する協定締結/コープあいちSDGs助成制度の申請受付/知多市と地域共生社会の実現に向けた連携協定締結/認知症サポーター養成講座の公開講座（NPOあいちあんきネット）/「日本政府が核兵器禁止条約の署名・批准するとともに、締約国会議へのオブザーバー参加への要請文」を提出/「コーすけランドセルカバー」贈呈式（コープ共済連がランドセルカバーを小学校に寄贈する取り組みで、あま市で贈呈式を行う）

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 56 2022/04/13 19:06

資料7

監事会の年間の活動について（2021年度の実績）

□第13回通常総代会資料（2021年度監事会活動のまとめ）

※4月21日実施の監査報告を記載して完成版とします。

コープあいち監事会

監事会の1年間の活動について報告します。監事会は、期初に監査方針・計画を策定し、2021年度総代会決定に基づく理事の職務執行について、各監事が役割を分担し監査等を行いました。財産および損益の状況の監査については、会計監査人の監査報告を参考としました。

1.対象期間	2021年3月21日　から　2022年3月20日　まで	
2.監査方針	監査の基準、規則	「コープあいち監事監査基準」に準拠し、また「監事監査規則」に従って監査を行いました。
	重点監査項目	監査計画に基づき、以下の5項目を重点監査項目とし監査等を実施しました。 ①宅配事業、店舗事業、福祉事業の持続的発展 ②第4次中期方針の具体化 ③コープあいちの地域政策とブロック運営の状況 ④コープあいちと東海コープ事業連合の連帯 ⑤内部統制システムの構築・運用の状況

	活動項目	内容と主な指摘事項
3.監査の方法および内容	監事会	月例監事会と期末監査に関する監事会などで14回開催しました。監査報告の審議などで監事連絡会も適時開催しました。
	理事会その他重要な会議への出席	毎月の理事会と理事協議会に出席し、都度監事会としての振り返りを行い理事会に報告しました。また、常務理事会・経営会議、ブロック連絡会・総代会議等にも分担して出席しました。
	理事および職員等からの報告の聴取	代表理事との会合は延べ年5回実施しました。また全7ブロックの各宅配、店舗、福祉事業所1カ所ずつを監事で分担して訪問し、現場視察とともに、職員の意見を聴取し、ブロック長・担当役員を交えブロック運営について意見交換を行いました。
	重要な書類等閲覧	申請・報告書、契約書、経費支出、規約規程等の重要書類を実査しました。
	監査法人との連携	年4回協議を行い、期首監査計画、期末監査結果、期中の往査報告などを受けました。
	内部監査部門との連携	毎月内部監査部門、内部統制部門と常勤監事との情報交換を実施、各現場の状況を把握しました。
	有識者理事と監事の懇談	理事の執行を監査し、コープあいちの将来を考える目的で、年3回に理事長、有識者理事と理事会運営、事業施策などで意見交換を行い、まとめを元に理事長・常任理事会への提言を行いました。

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 57 2022/04/13 19:06

資料7 監事会の年間の活動について（2021年度の実績）

4.業務執行監査での指摘事項	第12回総代会監査	7月に第12回総代会に関する監査を実施しました。昨年に続きコロナ禍で実出席28名、書面516名、合計出席率98.9％での開催でした。実出席しなかった総代に配慮して、ライブ配信とダイジェスト動画の公開、議案や採択の結果もホームページで公開されたことを評価します。引き続き常勤役員への組合員の信頼が高まるように努力を続けてください。
	上半期監査	10月に上半期の経営・組織監査を実施しました。昨年行ったポイント還元の効果測定を行い、剰余は抜本的な「成長戦略投資」に活用されることを期待します。IT分野、福祉事業、人材への投資、コロナ後を見通した人員配置も見直してください。
	福祉事業の監査	12月に福祉事業に関する監査を実施しました。感染防止策を講じながら、計画以上の経常剰余を確保されたことを評価します。『地域福祉』が事業間連携を通じて新たな生協事業となるよう、理事会での総合的な戦略論議を期待します。
	宅配事業の監査	1月に宅配事業に関する監査を実施しました。新規利用者、継続利用者に向け実施した取り組みの施策ごとに、結果を明確な数値目標と費用をもって評価し、次年度新たなチャレンジに向かってください。
	店舗事業の監査	2月に店舗事業に関する監査を実施しました。損益計算書が中型・小型店別に記載されるようになった事を評価します。一般量販店より高い本部コストが赤字の大きな原因です。中型店の黒字化への道筋と、老朽化の進む小型店ごとの再投資の方向性を明確にした計画を提案してください。
	会計・決算方針監査	2021年度予算は抑制的でしたが、利用の大幅減はなく、業績は引き続き好調です。今後、総事業高は縮小する一方、経費の増加が見込まれ、適切な経費コントロールの方向性を示していただきたいと考えます。暮らしに関わる経費も総じて値上がり基調です。商品群ごと価格政策や調達方針、暮らし方の提案など、組合員とともにすすめる取り組みを期待します。
	期末監査	未実施（4/21予定）
5.総代会に関する監査	総代会議案の調査・監査	総代会提出書類について、理事会への出席および理事・職員からの説明を聴取し、適法性等を監査しました。
6.決算関係書類等の監査	決算関係書類等の監査	本年度の会計基準の適用方針、変更の有無、および決算関係書類等について、説明を聴取し監査いたしました。その際、会計監査人の監査報告書を参考にしました。
7.内部統制システム監査	内部統制システムの整備状況の監査	内部統制システムに係る理事会決議に基づき整備されている内部統制システムの実施状況について、担当者と毎月情報交換しました。組織内に法令や自治規範に従った業務執行に対する弱さがあると考えます。
8.東海コープ関連	監事監査の連携	東海コープの監事と連携し、常勤監事協議会を隔月1回、監事監査研究交流会を年2回開催（10月、3月）しました。
9.監事研修	監事の研鑽のため	コープあいち虹の会代表の丸千水産の活動学習、三河山間部の生協活動（宅配JSS）の現場の見学を行いました。

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 58 2022/04/13 19:06

資料8　2030年ビジョンと第4次中期方針について

1.2030年ビジョンについて

2030年ビジョンは、2030年にコープあいちのありたい姿を描いたものです。組合員のみなさんや職員から寄せられた2000件を超える声が盛り込まれています。2021年度の第12回通常総代会で決定されました。

2030年ビジョン　スローガン

つなげよう　かなえよう　笑顔あふれる未来へ！

それぞれの言葉には、こんな思いが込められています。

「つなげよう」　誰もがかかわり合える地域づくりや組織・活動へ

「かなえよう」　くらしの願いと平和の実現

「笑顔あふれる未来へ！」　心豊かなくらしとSDGs達成をめざして！

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 59　2022/04/13 19:06

資料8 2030年ビジョンと第4次中期方針について

2.第４次中期方針（2021年～ 2023年）について

第4次中期方針は、2030年ビジョン「SDGsの6つの目標に沿ってありたい姿の実現を」の足掛かりとなる3年間のアクションプランです。2021年度の第12回通常総代会で決定されました。

Ⅰ　基調

1 2030年ビジョンの実現をめざします

第4次中期方針は2030年ビジョン『SDGsの6つの目標に沿ってありたい姿の実現を』の足掛かりとします。

⑴SDGsの6つの目標の達成をめざします

・持続可能な食の循環を発展させる
・安心してくらせる地域社会づくり
・多様性を認め理解し合える社会づくり
・大切な地球を未来の子どもたちに引き継ぐ
・飢餓・貧困をなくし、子どもたちを支援する
・核廃絶と平和の実現、次世代への継承

⑵2020年ビジョンから引き継ぐ課題について

①ひろがるコープ（愛知県下で「世帯加入2割」をめざします）
・毎年3万人の新規加入と利用者純増1.5万人をめざします。
・地域のみなさんの願いや想いに応えられる生協になります。
・組合員のいろいろな参加（モニター参加、利用を通じて声の参加など）を広げます。
・組合員活動は身近な地域で活動する登録者を増やします。

②つながるコープ（さまざまなつながりや連携を強めます）
・組合員がより利用しやすい事業として改善・改革していきます。
・総合的にお役立ちできる事業と活動をメーカー・生産者他と連携しながら広げていきます。
・組合員・生活者の願いを実現するくらしの運動や活動を広げていきます。
・これらの取り組みを「64の生協の事業所」を通じ広げ、つなげていきます。

③笑顔あるくらしへの貢献（「コープあいちがあってよかった」と言われるように）
・コープあいちの総合力とさまざまな事業・活動を通じて組合員の声を生かします。
・働いていてよかったと実感できる元気な職員組織、健全な経営をめざします。

2 コロナ後に向けて生協の役割を明確にし、くらしへのお役立ちを広げていきます パートナーシップで安心してくらせる地域づくりをすすめます

①生協の根源的な価値や役割をわかりやすくお知らせし、広げ、地域社会づくりの役割を担います。

②「協同すること」を大切に「たすけあい（おたがいさま）」の取り組みを広げます。
パートナーシップで安心してくらせる地域づくりをすすめます。

3 組合員、役員、職員の全員参加で2030年を見据え改革し、チャレンジし、コープあいちのファンを増やします

・事業と活動のしくみづくり・構造改革・デジタル化を推進します。
・組合員・ふくし※・地域の視点を大切にします。
・組合員と職員と共に考え、行動し、新しいことにも果敢にチャレンジします。
・コープあいちのファンを増やし笑顔あるくらしへ貢献します。

※ひらがなの「ふくし」は福祉事業に限らず、くらしを支え合い「ふだんのくらしをしあわせに」する意図を込めて使っています。

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 60　2022/04/13 19:06

Ⅱ　重点課題　4つの柱

柱1.＜お役立ち＞　～コープあいちのさまざまな事業を通し、みんなの想いをつなげます～

1 食を中心に、生涯を通じてくらしへのお役立ちができる事業を目指します

・食を中心に「つくる責任」と「つかう責任」の好循環を発展させ、生産と消費の笑顔がつながる事業・活動をすすめます。
・「食の安全」や「食育・健康」、身近な「環境や食糧問題」について、学び合う場や商品を通した取り組みを広げていきます。その学びを広く伝え合うことを大切にしていきます。
・経常剰余率目標は1.5％以上をめざします。

2 生協のしくみを生かし、行政や地域の諸団体のみなさんとも連携して、安心してくらせるまちづくりに貢献します

・市町村ごとの加入率目標や重点地域を決め、生協を幅広くお知らせします。愛知県内全域で加入率2割の生協になります。
・宅配はコロナ禍、コロナ後の時代を見据えながら、多様な世代（子育て層・共働き層・シニア層）の願いに応える事業に変えていきます。宅配事業の体験価値（満足度・喜び等の心理的な価値）を高められるように取り組みます。そのために、DX（デジタル化による抜本改革）とUX（利用を通じて得る体験）向上を具体化します。
・店舗は地域のくらしの拠点として3つの基準（出店、改装・修繕、閉店）を基調に、第4次中期方針の期間（23年まで）に全店直接剰余の黒字化をめざします。
・福祉は高齢化に伴う役割を明確にし、エリアで頼りにされる福祉事業をめざし、安定した経営と幅広い人材育成をすすめます。
・地域のさまざまな要望や課題に事業間連携とパートナーシップで対応します。
・各事業所は、大規模自然災害時の継続と環境・省エネルギー対策ができるように改修します。

柱2.＜SDGs＞　～組合員・地域の皆さんと一人ひとりができることから始めましょう～

1 地域での活動を積み重ね、世界の人々と共に、格差や貧困・飢餓のない社会の実現に貢献します

・平和や再生可能エネルギーの推進、食育、復興支援、防災など幅広いくらしの願いや要望がかなえられる社会づくりに貢献します。
・格差や貧困のない社会をめざし、ユニセフやアイキャンの国際協力活動をすすめます。
・地域の見守り活動、子育て、おたがいさまの活動などは、組合員や県内協同組合、地域の諸団体や行政と一緒に広げていきます。

2 ダイバーシティなど、たがいに認め合いながら一人ひとりが大切にされる社会をつくります

・多様な誰もが共に働ける職場環境をつくります。ダイバーシティ、男女共同参画、ワークライフバランスなど目標をもって取り組んでいきます。
・多様な方々が参加・参画できる組合員活動を広げ、安心してくらせる地域社会をめざします。

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 61　2022/04/13 19:06

2030年ビジョンと第4次中期方針について

3 くらしの中でエシカル消費をすすめます

・「あいちを食べよう日本の食をたいせつに！大運動」のさらなる広がりを通じて、産地とのコミュニケーションを深め、地元の農業を支援し普及をすすめます。
・飼料米やエコフィード（食品残さなどを利用して製造された飼料）など資源循環の推進を通じて食糧自給率の向上と県内の生産の拠点を守る取り組みをすすめます。
・コープ商品の普及を通し、地域、環境、社会、人々の視点でのエシカル消費を広げ、みんなの笑顔につながるお買い物を推進します。

4 脱炭素社会・循環型社会・自然共生社会の実現に向けて、くらしのあり方を見直し、事業を変革します

・コープあいちの環境政策に沿って具体的な行動を確実にすすめます。
・2030年ビジョンでめざす環境対応として、CO_2を40％削減する取り組みを推進します。
・商品案内など紙資源の削減、食品ロス削減に向けた運動をすすめます。

5 被爆・戦争体験と平和への想いを次世代に継承し、世界の人々への発信と対話を広げ、核兵器廃絶と世界平和の実現を目指します

・ピースアクションや平和の活動を通じて戦争体験を伝え、平和な世界、戦争のない世界を未来の子どもたちにつなぐ取り組みをすすめます。
・幅広い世代や誰でも参加できる活動を広げていきます。被爆者の語り継ぐ活動を見える化し継承していくことと新たな平和活動の担い手づくりを広げていきます。

柱3.＜チャレンジ＞　～社会の変化に機敏に対応し、のりこえていきます～

1 食の安全・安心をリードし、いのちとくらしにかかわるさまざまな分野で、社会的水準を高めるフロントランナーをめざします

・地域の生産の拠点を守り、環境や社会に貢献できる商品を広げます。
・産消提携を推進し、さまざまな声や要望に対応できる産物を育みます。

2 一人ひとりのくらしに寄り添いながら、社会の変化に対応し、災害時にも助け合い支え合える地域社会をつくります

・BCP（事業継続計画）は大規模自然災害や感染症、人的被害など幅広いリスクに対応できるように実行力を強めます。組合員や地域のみなさん、全国の生協と連携していきます。
・地域の一員としてブロックごとの組合員の話し合いの場（ブロック内の情報共有、問題解決など）の検討をすすめ、組合員活動を多彩に広げていきます。

3 技術の進化を積極的に取り入れながら情報発信の充実や、事業革新にチャレンジします

・コープ宅配のしくみのリノベーションをすすめ、年度ごとに課題を明確にしてすすめます。
・利用しやすいe-フレンズの基盤の整備を行います。
・持続可能な事業であるために収益構造の強化を3生協と東海コープと一緒にすすめます。

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 62　2022/04/13 19:06

柱4.＜みんなの力＞　参加・共感・信頼

人の力

1 組合員が主人公。おいしさ・たのしさ・うれしさ、を感じられる生協

・新しい「組織運営方針」に基づき、地域組織・ブロック運営、総代選出、理事選出など、地域で幅広い世代が参画できる活動の広がりをみんなで知恵を出し合い推進していきます。
・各ブロックや全体で取り組んでいる活動を見える化し、みんなで協同し推進していきます。

2 職員が誇りとやりがいを力に働き続けられる職場をつくります

・“できていること（人）”から学び合い・教え合いができる職場をつくります。事業ごとで継続的に組合員満足度調査を実施し、事業運営・職員育成に生かします。
・生協の安全運転や接遇など仕事の基礎教育、協同組合や生協商品についての学習、専門分野の教育、マネジメント研修を整備し実施します。
・職員の高齢化、定年延長に向けての仕事づくりや女性幹部職員の育成を推進します。

連帯の力

1 みんながかかわることで実現する力

・JAはじめ県内の協同組合のみなさん、地域の諸団体、社会福祉協議会や行政とも日常的な情報交流などの連携を通じて、安心してくらせるまちづくりに貢献します。
・地域の見守り活動や子育て、「くらしたすけあいの会」など地域づくりの取り組みを支援します。
・日生協、共済連、研究センターや労働者協同組合（ワーカーズ）のみなさんとの連携で、日々協力し合える関係づくり（相互関係）を深め、地域づくりを推進します。

2 生産者・メーカーとの協力・連携を大切にして パートナーシップを高め、よりよいくらしを実現します

・東海の3生協を柱に全国の生協と連帯し、事業基盤の強化をはかります。
・さまざまな団体とのパートナーシップにより、くらしの総合的な役割を担えるようになります。

願いをカタチにする力

1 「こうだったらいいな！」が力タチになる生協

・組合員の声を生かし、組合員の参加を広げるためにモニターの拡充やSNSなどの環境整備を行います。
・利用を通じた声を多く集め、利用しやすいしくみの改善や商品の品揃えなどに生かします。

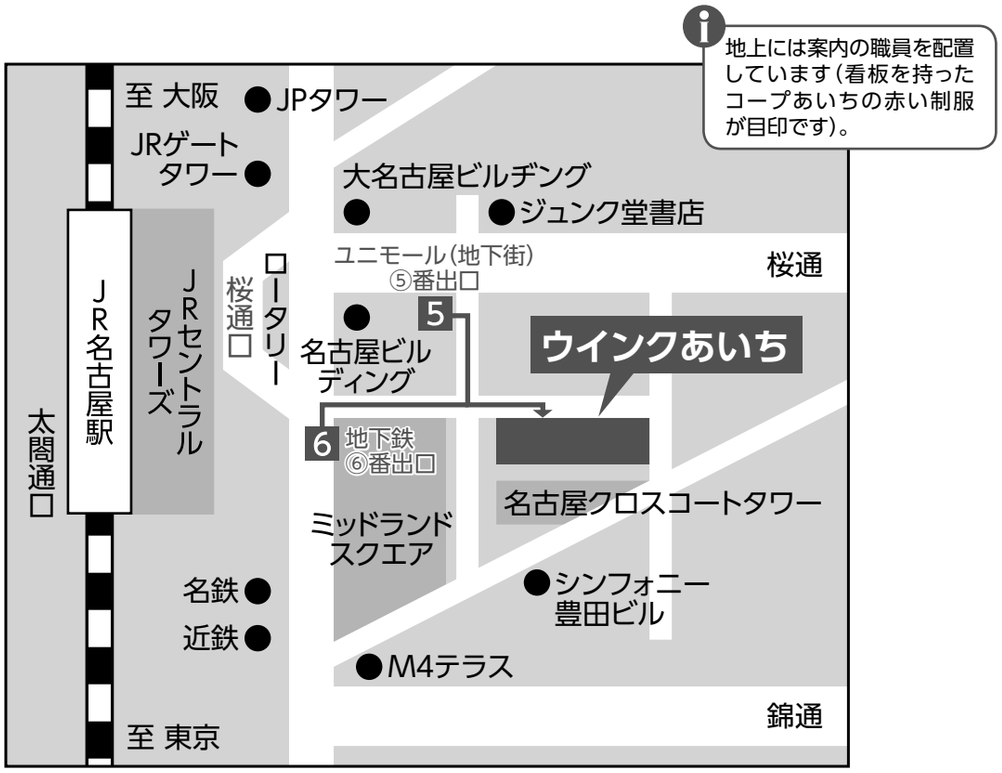
2 かかわりたい、参加したいと思える生協にします

・コープあいちの事業・活動をさまざまな手段を使い、内外に発信し続けます。
・地域活動は行政や他団体と一緒にブロック運営の中ですすめていきます。身近なところで活動し、ブロックごとに地域について考え合う場をつくります。
・食に関わる社会情勢に応じた学習会や情報を提供します。
・「まなびガイドブック」の活用を推進し、利用につながる取り組みを広げます。オンラインで学べるコンテンツを生産者・メーカーと一緒に広げていきます。
・広報についてはWebサイトをリニューアルし、Webを活用し双方向のコミュニケーションを強化します。コープあいちとして積極的に意見や提言を発信していきます。
・組合員の参加を広げるためSNSの活用、リアルタイムの情報や商品情報の発信やアンケートなど、幅広い世代にアプローチを広げます。

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 63　2022/04/13 19:06

第13回通常総代会

日時：2022年6月13日（月）　10時30分～12時00分
会場：愛知県産業労働センター　ウインクあいち大ホール
（名古屋市中村区名駅4丁目4-38　TEL 052-571-6131）
名古屋駅（JR・地下鉄・名鉄・近鉄）より
◎JR名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面　徒歩5分
◎ユニモール地下街　⑤番出口　徒歩2分

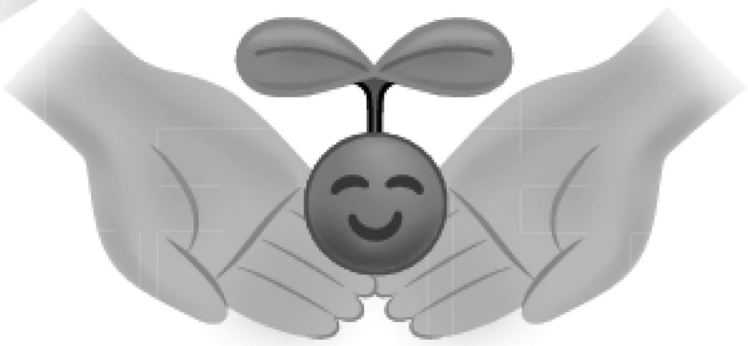


体調に不安のある方は参加をご遠慮下さい。
書面での出席も可能です。
託児の会場はありませんのでご了承下さい。
ご理解とご協力をお願いします。

生活協同組合 コープあいち
〒465-8611　名古屋市名東区猪高町大字上社字井堀25-1
TEL：052-703-6022　FAX：052-703-3387
ホームページ　http://coopaichi.tcoop.or.jp/
メールアドレス　aichi@tcoop.or.jp

COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 64　2022/04/13 19:06

笑顔のたねをまこう!



COOP22_AICHI_P39_P65_資料_CS6.indd 65 2022/04/13 19:06

生活協同組合
コープあいち

PDF用.indd 2 2022/03/30 13:56